

ドキュメンテーション  
**Klocwork Insight v. 10.1**  
インストールガイド

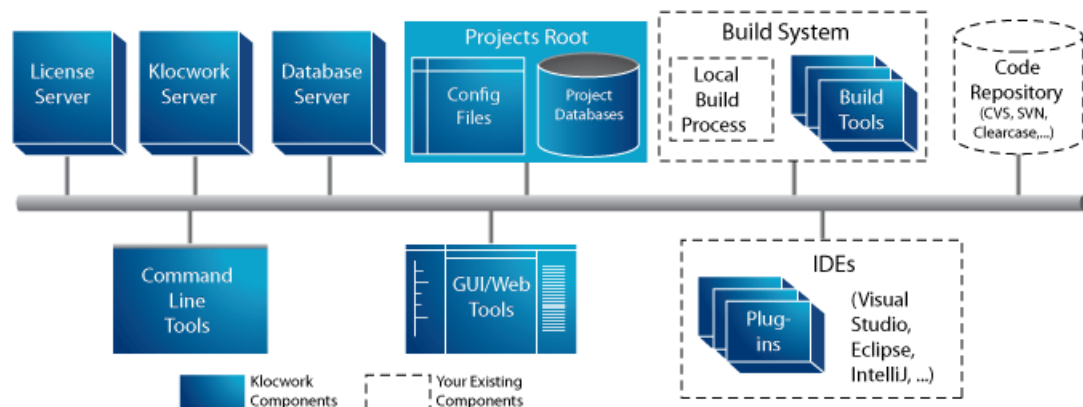


# 目次

<b>Klocwork</b> パッケージとコンポーネントについて.....	<b>3</b>
前バージョンからのアップグレード.....	<b>5</b>
既存のプロジェクトを新しいプロジェクトルートにインポートする.....	5
Klocwork Review にログインします。.....	6
projects_root の移行.....	9
<b>Klocwork Insight</b> のインストール.....	<b>16</b>
Windows への Klocwork サーバー パッケージのインストール.....	16
Klocwork Review にログインします。.....	18
Windows への Klocwork サーバー パッケージのインストール -- アップグレードのみ.....	18
Unix への Klocwork サーバーパッケージのインストール.....	19
Klocwork Review にログインします。.....	22
Unix への Klocwork サーバーパッケージのインストール -- アップグレードのみ.....	23
Mac への Klocwork サーバーパッケージのインストール.....	25
Klocwork Review にログインします。.....	27
Mac への Klocwork サーバーパッケージのインストール -- アップグレードのみ.....	27
デスクトップ解析プラグインのダウンロードと展開.....	27
デスクトップ解析プラグインのインストール.....	28
プラグインのインストール.....	29
Eclipse 更新サイトからの Klocwork プラグインのインストール.....	31
トラブルシューティング.....	31
新規またはアップグレード版 <b>IDE</b> 向けカスタムインストールの実行.....	<b>32</b>
インストールの後.....	<b>34</b>
分散解析パッケージのインストール.....	34
Unix へのインストール.....	34
Windows へのインストール.....	34
Windows への自動インストール.....	36
インストールのテスト.....	39
Klocwork Review にログインします。.....	39
サンプルプロジェクトを作成して解析する.....	40
インストールのトラブルシューティング.....	40
チームに伝達しなければならないこと.....	42
<b>Klocwork Insight</b> のアンインストール.....	<b>43</b>
Mac でのアンインストール.....	45

## » Klocwork パッケージとコンポーネントについて

Klocwork Insight のインストールパッケージおよびコンポーネントでは、特定のマシンに必要なコンポーネントのみをインストールできます。



注: 分散解析パッケージについては、分散解析パッケージのインストールで個別に説明します。

## サーバーパッケージのコンポーネント

コンポーネント	詳細
ライセンスサーバー	FLEXlm ライセンスマネージャー (コマンドライン名: license)。組織の FLEXlm サーバーを使用することもできます。デフォルトのホスト:localhost デフォルトポート:27000 と 33133
Klocwork サーバー	An Apache Tomcat Web サーバー (コマンドライン名: klocwork)。Klocwork Review、Klocwork Cahoots、および Klocwork ドキュメンテーションにアクセスできるようにします。Klocwork クライアントは、プロジェクト情報を取得するために Klocwork サーバーに接続します。  注: Klocwork では、独自の Apache Tomcat サーバーを使用することはサポートしていません。Klocwork に同梱してある Web サーバーを使用する必要があります。デフォルトのホスト:localhost デフォルトポート:8080 と 8081 Klocwork サーバーコンポーネントに Klocwork データベースが追加されました。デフォルトのホスト:localhost デフォルトポート:3306
Klocwork ビルドツール	統合ビルド解析ツール: <ul style="list-style-type: none"> <li>» Klocwork のプロジェクト、解析、およびアクセス制御の管理のためのツール (kwadmin および kwbuildproject)</li> <li>» build specification (ビルドスペック) の生成のためのツール (kwinject、kwwrap、kwant、kwcsprojparser)</li> <li>» Klocwork 統合ビルド解析の実行のためのツール (解析エンジン)</li> <li>» Klocwork のプロジェクトおよびアクセス制御の管理のためのツール</li> <li>» サンプルプロジェクト</li> </ul>

コンポーネント	詳細
Klocwork projects_root ディレクトリ	MySQL および Lucene データベースに保存されるプロジェクトデータベーステーブルなど、Klocwork サーバーおよびアプリケーションのデータの場所。  <b>注:</b> <code>projects_root</code> ディレクトリは、インストールウィザードで表示されるコンポーネントのリストにはありませんが、その場所をウィザードで選択できます。

## デスクトップ解析コンポーネント

コンポーネント	詳細
Klocwork コマンドライン	C/C++ および Java 向けの Klocwork デベロッパーツールのコマンドラインバージョン。ソフトウェアデベロッパーは、ソース制御にコミットする前にソースコードの品質を確認できます。kwcheckを実行するためのGUI代替である Klocwork Desktop も含まれます。  <b>注:</b> このコンポーネントには、カスタムチェッカーを書き込むための Klocwork Extensibility API も含まれています。
Klocwork Desktop Plug-in for Visual Studio	Microsoft Visual Studio との統合用 Klocwork デスクトップ解析プラグイン。Visual Studio バージョン 2005、2008、2010、および 2012 をサポートしています。
Klocwork Desktop Plug-in for Eclipse	Eclipse および Eclipse ベース IDE 用 Klocwork デスクトップ解析プラグイン。
Klocwork Desktop Plug-in for IntelliJ IDEA	IntelliJ IDEA 用 Klocwork デスクトップ解析プラグイン。

**注:** デスクトッププラグインは、一度展開した後、Insightポータルのメインページからダウンロードできます。各バイナリファイルの命名形式は次のとおりです。

`kw-insight-IDE-installer.platform.exe`

デスクトップ解析プラグインの詳しいインストール方法については、[デスクトップ解析プラグインのインストール](#)を参照してください。

## » 前バージョンからのアップグレード

Insight で、既存の Klocwork Insight プロジェクトを新しい projects\_root ディレクトリに簡単にインポートできるようになりました。Klocwork Insight ポータル GUI を使用して既存の Klocwork サーバーに接続し、インポートするプロジェクトを選択してください。Klocwork Cahoots ユーザーの場合は、既存の Cahoots サーバーを使用して Klocwork Cahoots コードレビューを Insight にインポートすることもできます。この GUI からは、Klocwork Insight の最新バージョンへの移行を短時間で容易に行うことができます。

インストール形態には1つとして同じものはありません。自身のインストール形態に応じてプロジェクトルートディレクトリ全体を移行することができます。この方法はまだサポートされています。以下のセクションで、プロジェクトをインポートする方法とプロジェクトのルートディレクトリ全体を移行する方法について説明します。

### 既存のプロジェクトを新しいプロジェクトルートにインポートする

既存の projects\_root のプロジェクトを新しい Klocwork インストールにインポートするための簡素な GUI が、Insight に追加されました。この GUI では、コマンドラインを使用したり、データベースを検証したりすることなく、プロジェクトごとにデータを移行することができます。

プロジェクトをインポートする前に、新しくインストールする Klocwork 製品でこの機能がサポートされていることを確認してください。

**注:** アップグレードには、この方法をお勧めしません。

一般的に、このプロセスには以下の手順が必要です。

- » 既存の projects\_root のバックアップ (念のため)
- » 新しい Klocwork Insight サーバーのインストール (新しいマシン上か、または別のポート番号を使用)
- » 新しいサーバーの起動、ポータルのオープン、GUI を使った既存プロジェクトの新しいサーバーへのインポート
- » 新しくインストールしたサーバーのテスト後、既存サーバーおよび projects\_root のアンインストール

### お使いになる前に

インポートには、既存のインストール済み Insight (および projects\_root) と新規にインストールする Insight (および空の projects\_root) を同時に実行する必要があります。新しいサーバーをインストールしたら、既存の projects\_root 内のすべてのプロジェクトを空の projects\_root にインポートする必要があります。

同じマシン上で 2 台の Klocwork サーバーを実行するには、それぞれに一意のポート番号が指定されていなければなりません。新しい Klocwork を同じマシンにインストールする場合は、別のポート番号を使用して既存のサーバーを停止および再起動するようにお勧めします。これによって、新しくインストールしたサーバーに対して既存のポート番号を引き続き使用することができます。

Klocwork サーバーとデータベースサーバーの両方には、インポートプロセス時に対象のサーバーからアクセスできるように割り当てられた完全修飾ドメイン名か IP アドレスが必要です。localhost は使用しないでください。

**注:** インポート操作を実行するには、ローカル projects\_root 管理者アクセスが必要です。

プロジェクトのインポートに対応した **Insight** バージョンについてサポートされるアップグレードパス

プロジェクトは、9.5の任意のバージョンからインポートすることができ、9.2および9.6の最新サービスリリースからのインポートもサポートされています。リリース 9.0 または 9.1 からアップグレードする場合は、適切な

アップグレードパスに従って 9.2 SR3 か、または下表に記載した任意のバージョンにアップグレードしてください。

下の表で最新のバージョンおよび適切なアップグレードパスを確認してください。適切なバージョンの Insight へのアップグレードが完了したら、アップグレード後の Insight を使用して既存のプロジェクトをインポートしてください。9.0 より前のバージョンからアップグレードする場合は、[カスタマーサポート](#)に連絡して詳細な手順を確認してください。

現在使用している <b>Insight</b> のバージョン	適用するサービスリリース
9.2	9.2 SR3
9.5	すべてのサービスリリース
9.6	9.6 SR5
10.0	すべてのサービスリリース

サポートされているサービスリリースまたはバージョンへのアップグレードが完了したら、最新バージョンの Klocwork Insight をインストールし、Insight から既存のサーバーに接続して既存のプロジェクトをインポートしてください。プロジェクトをインポートするには、下記の手順に従ってください。

## Insight サーバーパッケージのインストール

バージョン 10.1 サーバーパッケージをインストールします。手順については、以下を参照してください。

- ▶ [Windows への Klocwork サーバー パッケージのインストール](#)
- ▶ [UNIX への Klocwork サーバーパッケージのインストール](#)
- ▶ [Mac への Klocwork サーバーパッケージのインストール](#)

ライセンスファイルを <projects\_root>/licenses にコピーします。

**注:** ライセンスオプションの詳細については、[ライセンスのカスタマイズ](#)を参照してください。

## サーバーを起動します。

新しいバージョンの Insight のインストールが終わったら、サーバーを起動して一意のホスト名とポート番号を指定します。

ホスト名とポート番号の指定は起動時か、またはインストールプロセス中に行うことができます。詳細については、[Klocwork サーバーの起動](#)を参照してください。

## Klocwork Review にログインします。

Klocwork サーバーを開始した後、Klocwork Review は、Klocwork サーバーマシンの URL と、インストール時に選択した Klocwork サーバーポート (localhost:8080) を使用してアクセスできます。デフォルトでは、Klocwork Insight をインストールした人が Klocwork 管理者になり、プロジェクトルート管理者の役割に割り当てられます。最初は、基本認証アクセス制御メソッドが使用されるので、パスワードなしでログインできます。たとえば、インストール時に使用したユーザーアカウントが jsmith の場合、管理者の役割で Review にログインするには、次の資格情報を使用します。

```
username: jsmith
password: <empty>
```

セキュリティと認証方法の詳細については、[セキュリティとパーミッション](#)を参照してください。

## プロジェクトとサーバー設定のインポート

新しいKlocworkサーバーがインストールされ、ポータルが立ち上がった状態になったら、既存のInsightからサーバー設定およびプロジェクトをインポートできます。

既存のソースサーバーからサーバー設定をインポートすると、宛先サーバー上に存在するプロジェクトのみのパーミッション設定とともにすべてのグローバルパーミッション設定がインポートされます。つまり、サーバーAの設定をサーバーBに設定してから、サーバーAのプロジェクトをサーバーBにインポートする場合、プロジェクトAに固有のパーミッション設定はサーバーBに継り越されません。プロジェクトAのプロジェクト固有パーミッション設定を継り越すには、インポート操作を実行した後でサーバー設定を再インポートしなければなりません。

**重要:** プロジェクトにカスタム設定が含まれている場合は、プロジェクトインポートを実行した後でサーバー設定を再インポートする必要があります。

既存のプロジェクトをインポートするには、次の手順に従います。

1. Klocworkポータルで *Insight* をクリックし、project\_root 管理者アカウントを使用して製品にログインします。
2. プロジェクト タブをクリックします。

その際、Insight を初めて使用する場合は、[設定またはプロジェクトのインポート] ボタンをクリックします。

既にプロジェクトを作成したか、またはインポートした場合は、[インポート] ボタンをクリックします。

3. [Klocworkサーバーの接続]ダイアログで、既存のInsight(設定やプロジェクトのインポート元)のログインおよび接続情報を指定します。指定項目は以下のとおりです。
  - » 既存のサーバーの URL (例: <http://server21:8082> ,
  - » ユーザー名。注意:サーバーに接続してプロジェクトをインポートするには、projects\_root 管理者権限が必要です。
  - » パスワード (必要に応じて)
4. [サーバー構成のインポート] をクリックして既存のサーバーの構成設定をインポートします。この設定には、認証構成設定、パーミッション、カスタムメトリクス、レポート定義、電子メール購読設定が含まれます。
5. [List Projects (プロジェクトのリスト)] をクリックして既存の projects\_root にあるプロジェクトのリストを表示します。
6. [インポートするプロジェクトの選択]ダイアログで、新しい projects\_root にインポートするプロジェクトを選択します。
7. [インポート] をクリックします。[インポートステータス]ダイアログに、プロジェクトインポートのステータスが表示され、[プロジェクト] タブの上部にインポートステータスメッセージが表示されます。

正常にインポートされたプロジェクトはプロジェクトリストに表示されます。

**注:** インポートプロセス中、プロジェクトが正常にインポートされていても、[プロジェクト]ビューの指摘情報には、インポート元のプロジェクトのデータが正しく反映されない場合があります。[プロジェクト]ビューの情報は、インポート操作が完了すると同時に更新されます。インポートステータスインジケータをチェックすると、進行状況を確認できます。

8. [サーバー構成のインポート] を再びクリックしてプロジェクトに固有の構成設定をインポートします。サーバー設定を再インポートしないとプロジェクトに固有の構成設定はすべて失われるため、このステップは必須です。
9. インポートするプロジェクトごとに[パーミッション]をクリックして、各プロジェクトのパーミッションが正しいことを確認します。

各プロジェクトのパーミッションを確認することが重要なのは、ソースサーバーと宛先サーバーの間でインポート時にパーミッションが統合されるためです。インポート操作が完了するたびにこのプロセスを繰り返し、インポート元の各ソースサーバーのサーバー設定を再インポートするよう注意する必要があります。

## Web API を使用したプロジェクトのインポート

Klocwork Web API を使用すると、コマンドラインでプロジェクトをインポートすることができます。次の例は、プロジェクトをインポートするための curl スクリプトです。

```
curl --data "action=import_project&user=myself&project=my_project&sourceURL=http://oldserver:8080&sourceAdmin=user&sourcePassword=pwd"
http://localhost.klocwork.com:8080/review/api
```

ここで

- ▶ `project` は、インポートするプロジェクトの名前です。
- ▶ `sourceURL` は、インポート元の既存の Klocwork サーバーの URL です。
- ▶ `sourceAdmin` は、インポート元の Klocwork サーバー管理者 (`projects_root` への管理アクセス権を持っている必要があります) のユーザー ID です。
- ▶ `sourcePassword` は管理者のパスワードです。

インポート元の `projects_root` フォルダーにあるプロジェクトすべてのリストを取得するには、次のコマンドを実行します。

```
curl --data "action=projects&user=myself&"
http://localhost.klocwork.com:8080/review/api
```

Web API を使用してサーバー構成設定をインポートすることもできます。

```
curl --data "action=import_server_configuration&user=myself&sourceURL=http://oldserver:8080&sourceAdmin=user&sourcePassword=pwd"
http://localhost.klocwork.com:8080/review/api
```

通常、これらの操作のスクリプトは、Python や Perl などの言語で作成されています。Python を使用した curl 呼び出しの記述例については、[Klocwork Insight Web API クックブック](#)を参照してください。

## コードレビューのインポート

既存の Klocwork Inspect コードレビューまたは Klocwork Cahoots コードレビューは、新しいプロジェクトルートにインポートできます。

既存の **Klocwork Inspect** コードレビューをインポートするには、次の手順に従います。

**注:** コードレビューデータをインポートするには、ローカルのプロジェクトルートに同等のプロジェクトが必要です。コードレビューデータをインポートすると、現在の `projects_root` フォルダーにある既存のコードレビューデータは上書きされます。

1. Insight 製品ポータルで **[Cahoots]** をクリックします。
2. **[設定]** をクリックし、左側のペインの **[インポート]** をクリックします。
3. **[コードレビューのインポート]** をクリックしてから、ソース Klocwork サーバーの URL、ソースプロジェクトルートの Klocwork 管理者のユーザー ID、およびパスワードを指定します (必要に応じて)。
4. インポートするプロジェクトを選択し、**[インポート]** をクリックします。

既存の **Klocwork Cahoots** コードレビューをインポートするには、次の手順に従います。

**注:** Klocwork Cahoots では、コードレビューをプロジェクト別に編成しません。Cahoots サーバーから既存のコードレビューをインポートする場合、タグによってコードレビューを指定する必要があります。



1. Insight 製品ポータルで **[Cahoots]** をクリックします。
2. **[設定]** をクリックし、左側のペインの **[インポート]** をクリックします。
3. **[コードレビューのインポート]** をクリックしてから、ソース Klocwork Cahoots サーバーの URL、ソースプロジェクトルートの Klocwork 管理者のユーザー ID、およびパスワードを指定します (必要に応じて)。
4. コードレビューをインポートするローカルプロジェクトを選択します。
5. 左側のペインで、インポートするタグを選択します。
6. **[Assign (割り当て)]** をクリックして、選択したプロジェクトにタグを割り当てます。
7. **[インポート]** をクリックしてコードレビューをインポートします。

## アップグレードのテスト

---

プロジェクトおよびビルドが *Klocwork Review* に表示されることを確認します。

新しいライセンスファイルをインストールした場合、[ライセンス数が正しいことのチェック](#)により、ライセンスファイルが正しくインストールされたことを確認します。

## 新しくインストールされたサーバーの立ち上げ

---

新しくインストールされたサーバーが有効で、既存のプロジェクトが正しくインポートされことを確認したら、サーバーを立ち上げます。

新しいサーバーの新規で一意的なポート番号を選択したら、ユーザーにこの情報を通知してください。

既存のポート番号を再利用する (ユーザーが自身のローカル設定を更新しなくても済むように) 場合は、すべての Klocwork サーバーを停止して再起動し、新しいサーバーに既存のサーバーのポート番号を指定してください。

## すべてのデスクトップ解析プラグインをアップグレードする

---

Klocwork のすべてのプラグインが Insight 10.1 にアップグレードしたことを確認します。Insight 10.1 以前の Klocwork Desktop Analysis プラグインは、Insight 10.1 サーバーと相互運用できません。

Klocwork Desktop Analysis プラグインを一度立ち上げた後は、Klocwork ポータルから適切なプラグインをダウンロードすることによりユーザー自身がプラグインを再インストールできます。サーバーにプラグインをダウンロードおよび展開する方法の手順については、[デスクトップ解析プラグインのダウンロードと展開](#) (27ページ) を参照してください。

## 最初のバージョン 10.1 統合ビルド解析の前に

---

通常、新しいリリースの Insight には、現在のイベントに対応して顧客の要求に応えるようにチェッカー設定が変更されています。これらの変更は、以前のリリースからのチェッカー設定と新しいリリースの設定が異なっていることを意味している可能性があります。

古い設定に対応する正しいチェッカーが有効になっていることを確認してください。[新機能](#)で更新されたチェッカーのリストを確認し、[チェッカー設定](#)を変更してください。設定が完了したら、修正されないソースコードで最初のバージョン 10.1 統合ビルド解析を実行します。

**注:** 既に最初の 10.1 解析を実行しており、指摘またはステータス変更の一部が欠落している場合は、そのビルドを削除し、チェッカーを再設定して、新しい解析を実行します。

最後のプレアップグレード統合ビルド解析と最初のバージョン 10.1 解析を同じソースコードに実行してから、[2つのビルドを比較](#)することをお勧めします。こうすると、解析エンジンの変化を正しく評価できます。このバージョンのチェッカーの改良、追加、削除の詳細については、[新機能](#)を参照してください。

## projects\_root の移行

projects\_root および構成設定は、`kwservice --migrate` コマンドを使用することによって新しくインストールした Insight に移行できます。一般的に、このプロセスには以下の手順が必要です。

- » サーバーの停止と既存のプロジェクトルートフォルダーおよび構成設定のバックアップ
- » 既存プロジェクトルートフォルダー、サーバー、ポート設定の指定による、新しい Klocwork サーバーパッケージのインストール
- » データベースの再検証
- » インストールのテスト

**注:** `projects_root` フォルダーの移行は、Insight 9.6 からのアップグレードの一環としてのみサポートされています。以前のバージョンの Insight からアップグレードする場合は、[既存のプロジェクトを新しいプロジェクトルートにインポートする](#)を参照してください。

以前のバージョンからの移行の詳細については、[projects\\_root ディレクトリの移行](#)を参照してください。

## お使いになる前に

移行にかかる時間を削減するために、手順に示したように、移行前に不要なプロジェクトおよび失敗したビルドを削除することを強くお勧めします。

また、**projects\_root** ディレクトリのコピーを作成し、コピーを移行することをお勧めします。すると、指摘ステータスの変更など、変更はしないように指示されますが、ユーザーは Klocwork Review を引き続き使用できます。

デフォルトのサーバー設定を使用しない場合は、アップグレードを開始する前にカスタム設定を指定する必要があります。指定しない場合は、インストール中にこれらの設定がデフォルト設定に戻ります。忘れてしまった場合は、アップグレードの完了後にいつでも、環境ごとに設定にアクセスして変更できます。

リリース 10.1 の最初の解析実行で前回のリリースからの指摘、ステータス変更、またはコメントの喪失を回避するために、[最初のバージョン 10.1 統合ビルド解析の前に](#)を必ずお読みください。

### サポートされるアップグレードパス

製品の前バージョンからのアップグレードには、移行ユーティリティを使用する必要があります。古い製品バージョンからのアップグレードには、インポート手法を使用します。詳細については、[既存のプロジェクトを新しい projects\\_root にインポートする](#)を参照してください。

現在使用している Insight のバージョン	アップグレードパス
9.6	任意の 9.6 リリース --> 10.1 GA または SR.x

### リリース間の相互運用

Klocwork Insight 10.1 以前のクライアントは、Klocwork Insight 10.1 サーバーと相互運用できません。サーバーとデスクトップ解析プラグインの両方を Klocwork Insight 10.1 にアップグレードする必要があります。

### 2 つのバージョンの Klocwork サーバーの実行

たとえば既存のサーバーへのアクセスを継続しながら Klocwork Insight 10.1 サーバーをテストするなど、2 セットの Klocwork サーバーを実行する場合は、別々の `projects_root` ディレクトリでそれらを実行する (そして、[ポートを適切に設定](#)する) 必要があります。

### バージョン 9.x と 10.x 使用時のライセンス供与の取り扱い

Insight のバージョン 9.x と 10.x では、2 つの異なるライセンスバージョンを使用します。ただし、9.x と 10.x の両方を同時に実行することはできません。両バージョンを実行するシナリオは 3 つあります。

状況	操作
新バージョンをテストするために独立した <code>projects_root</code> を設定する	Insight 10.1 を新しい場所にインストールし、新しいライセンスファイルを新しいインストール環境の <code>&lt;projects_root&gt;/licenses</code> ディレクトリにコピー

状況	操作
	します。各インストール環境に対してライセンスサーバーを実行します。
既存の projects_root のアップグレード	<p>新しいライセンスファイルの内容を9.xライセンスファイルに追加します。9.xインストール環境からライセンスサーバーだけを実行します。そのバージョン10.1が以前のライセンスサーバーを指定する方法は、次の2つです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>» インストール時に、ウィザードまたはインストールスクリプトで該当するホストとポートを指定します。<a href="#">Klocwork Insight のインストール</a>を参照してください。</li> <li>» インストール後なら、<code>kwservice set-service-property</code> を使用します。<a href="#">Klocwork サーバー設定の表示と変更</a>を参照してください。</li> </ul>
バージョンごとに独立した運用環境の projects_roots を実行します (たとえば、1つのグループをアップグレードし、別のグループは引き続きバージョン9.xを使用する場合など)。	Insight10.1を新しい場所にインストールし、新しいライセンスファイルを新しいインストール環境の <code>&lt;projects_root&gt;/licenses</code> ディレクトリにコピーします。各インストール環境に対してライセンスサーバーを実行します。

**注:** Klocwork Insight に同梱してあるライセンスサーバーではなく、組織の FLEXlm ライセンスサーバーを使用する場合、Insight と FLEXlm ライセンスサーバーが連携できるよう構成する必要があります。また、Klocwork ライセンスファイルを正しい場所に配置する必要があります。[組織の FLEXlm サーバーの使用](#)を参照してください。

## アップグレードの準備

サーバーの起動および停止方法の詳細については、[Klocwork サーバーの起動](#)および [Klocwork サーバーの停止](#)を参照してください。

アップグレードの準備をするには:

1. 移行する projects\_root については、以下を実行します。

```
kwservice --projects-root <projects_root> check
```

2. 実行中のサーバーおよび使用中のポートについて書き留めます。新しいバージョンの Klocwork Insight に移行した後、サーバーはこれらのポートで実行されるようになります。
3. サーバーを停止します。
4. 復元ポイントを作成するために、移行する projects\_root ディレクトリの完全なバックアップを作成します。Klocwork Insight のアップグレード後は、アップグレードを元に戻せません。詳細については、[Klocwork データのバックアップ](#)を参照してください。
5. 構成ファイル (`kwmysql.ini`、`kwfilter.conf` など) をカスタマイズした場合は、`<server_install>/config` ディレクトリのバックアップを作成します。
6. サーバーを起動します。
7. **重要:** Klocwork データの移行にかかる時間を削減するために、Klocwork では次のことを強くお勧めします。

- » 移行しない以前のバージョンから、プロジェクトを削除します。[kwadmin delete-project](#)を参照してください。
- » 以前のバージョンから、失敗したプロジェクトビルドを削除します。ここで説明するようにプロジェクトを移行した後、以前のリリースで失敗したビルドを再開することはできません。ただし、テーブルからビルドをロードすることはできます。[kwadmin delete-build](#)を参照してください。

8. サーバーを停止します。
9. (オプション)2番目の復元ポイントを作成するために、移行のために準備した projects\_root ディレクトリのバックアップを作成します。
10. 既存の Klocwork ライセンスを安全な場所に保存します。
11. 混乱を回避するために、古い Klocwork のログを <projects\_root>/logs から削除します。

## Insight サーバーパッケージのインストール

バージョン 10.1 サーバーパッケージをインストールします。手順については、以下を参照してください。

- » [Windows への Klocwork サーバーパッケージのインストール – アップグレードのみ](#)
- » [UNIX への Klocwork サーバーパッケージのインストール – アップグレードのみ](#)
- » [Mac への Klocwork サーバーパッケージのインストール – アップグレードのみ](#)

## データベースの検証 (必須)

dbvalidate は、データベースのデータの一貫性をチェックするツールです。このツールは、Insightバージョン 8.2 以降で使用できます。移行前にデータベースのエラーを修正できるようにするには、このツールの実行が必須です。

**注:** データベースを検証するには、古いインストールのデータベースサーバーを実行する必要があります。

次のコマンドを実行します。

```
java -jar <10.1_server_install>/class/dbvalidate.jar --projects-root <projects_root>
```

ここで

- » <10.1\_server\_install> は新しいインストールディレクトリです。
- » <projects\_root> は移行する古いプロジェクトルートの場合を指定します。

例

```
java -jar C:/Klocwork/Server 10.1/class/dbvalidate.jar --projects-root  
C:\Klocwork\projects_root
```

dbvalidate は、"検証の開始" から "検証の完了" までの行のエラーを報告します。

```
Wed Jun 01 07:53:58 CDT 2011 kw_central database (version: 95) validation started  
<detected errors appear here>  
Wed Jun 01 07:54:28 CDT 2011 Database validation finished.
```

- » エラーが表示される場合は、移行前にエラーを修正できるように Klocwork [カスタマーサポート](#)に連絡してください。

- › エラーが表示されない場合は、データベースは正常に検証されました。

## 新しいライセンスの正しいディレクトリへの配置

カスタマーサポートから新しいライセンスファイルを受け取った場合、<projects\_root>/licenses にコピーします。

**注:** ライセンスオプションの詳細については、[ライセンスのカスタマイズ](#)を参照してください。

## Klocwork データの移行

projects\_root を移行するために、<Klocwork\_10.1\_Server\_install>/bin から次のコマンドを実行します。

```
kwservice --projects-root <old_projects_root> start --migrate
```

projects\_root が正常に移行された場合、移行された projects\_root から取得したポート番号で、Klocwork サーバーが起動します。

### 注意

- › Klocwork サーバーを Windows Services の一環として実行している場合、--migrate オプションを使用したサーバーを起動した後、kwservice --projects-root <migrated\_projects\_root> stop を使用してサーバーを停止します。その後、Windows Services Administration を使用して Insight 10.1 サービスを起動します。
- › Unix で SSH を使用して、または Windows で Windows Services Administration を使用して、Klocwork サーバーをリモートで管理できます。それ以外の場合は、start、restart、および stop コマンドをローカルに発行する必要があります。
- › 上記のコマンドは、projects\_root にあるすべての外部構成ファイルを UTF-8 に変換します。Klocwork Insight 8.1 では、すべての外部構成ファイルは、日本語などのマルチバイト文字が含まれている場合は、UTF-8 で暗号化されている必要があります。外部構成ファイルは、[編集可能な構成ファイル](#)に記載されているファイルです。

## 構成ファイルまたはメトリックファイルをカスタマイズした場合

- › <old\_Klocwork\_install>/config/kwmysql.ini にある **MySQL** 構成ファイルを変更した場合、新しいインストールの kwmysql.ini も同様に変更します。

**注:** Insight 9.2 以降で使用するバージョンの MySQL では、次のフィールドはサポートされません。以前の kwmysql.ini ファイルにこれらのフィールドが含まれる場合、これらの行を新しいファイルにコピーしないでください。

```
skip-bdb
```

```
myisam_max_extra_sort_file_size
```

**重要:** カスタマイズした構成ファイルを新しい Insight インストールにコピーしないでください。代わりに、新しくインストールした構成ファイルに対して同様のカスタマイズを行います。

- › <old\_Klocwork\_install>/config/kwfilter.conf にあるコンパイラマッピングファイルを変更した場合

新しいインストールの `kwfilter.conf` も同様に変更します。

**重要:** カスタマイズした構成ファイルを新しい *Insight* インストールにコピーしないでください。代わりに、新しくインストールした構成ファイルに対して同様のカスタマイズを行います。

- ▶ 次のファイルは *Insight* 9.5 では使用されないため、移行の必要がありません。
  - ▶ コンパイラ設定ファイル (`kwcc_config.xml`)  
詳細については、[kwinject エラー - コンパイラを構成できません](#)を参照してください。
  - ▶ コンパイラフィルターファイル (`<compiler_name>_filter.xml`)  
カスタマーサポートに連絡して、`*_filter.xml` ファイルを Python スクリプトで置換する必要があります。詳細については、[サポートされていない C/C++ コンパイラの追加](#)を参照してください。
- ▶ カスタムメトリクスレポートを **Klocwork Review** に追加した場合、カスタムメトリクスレポート構成ファイル (`metrics.xml`) を編集する必要があります。Klocwork *Insight* 9.0 より前では、`metrics.xml` ファイルは次の場所にありました。

```
<server_install>/webapps/review/reporting/config
```
- ▶ Klocwork *Insight* 9.0 では、`metrics.xml` ファイルは次の場所にあります。

```
<projects root>/config
```

## 注意

- ▶ Klocwork *Insight* 9.0 では、`metrics.xml` ファイルは、Klocwork インストール全体ではなく、`projects_root` ディレクトリに適用されます。このため、複数の `projects_root` ディレクトリがある場合、カスタマイズした `metrics.xml` ファイルを各 `projects_root` にコピーする必要があります。
- ▶ Klocwork *Insight* 9.0 では、`metrics.xml` ファイルのカスタマイズ後に Klocwork サーバーを再起動する必要があります。

## アップグレードのテスト

プロジェクトおよびビルドが *Klocwork Review* に表示されることを確認します。

新しいライセンスファイルをインストールした場合、[ライセンス数が正しいことのチェック](#)により、ライセンスファイルが正しくインストールされたことを確認します。

## すべてのデスクトップ解析プラグインをアップグレードする

Klocwork のすべてのプラグインが *Insight* 10.1 にアップグレードしたことを確認します。 *Insight* 10.1 以前の Klocwork Desktop Analysis プラグインは、 *Insight* 10.1 サーバーと相互運用できません。

Klocwork Desktop Analysis プラグインを一度立ち上げた後は、Klocwork ポータルから適切なプラグインをダウンロードすることによりユーザー自身がプラグインを再インストールできます。サーバーにプラグインをダウンロードおよび展開する方法の手順については、[デスクトップ解析プラグインのダウンロードと展開](#) (27ページ) を参照してください。

## 他の `projects_root` ディレクトリでアップグレードのステップを繰り返す

別の `projects_root` を移行するには、この章で説明した (Klocwork のインストールを除く) ステップを再度実行します。

2 番目以降の projects\_root ディレクトリのためのアップグレードのステップのサマリーは、次のとおりです。

1. アップグレードの準備をします。
2. 次を実行します。

```
kwservice --projects-root <projects_root> start --migrate
```

3. カスタマイズしたコンパイラ設定ファイルがあれば、それを再作成します。
4. カスタムメトリクスレポートを Klocwork Review に追加した場合、カスタムメトリクスレポート構成ファイル (metrics.xml) を編集します。
5. アップグレードをテストします。

## 最初のバージョン 10.1 統合ビルド解析の前に

通常、新しいリリースの Insight には、現在のイベントに対応して顧客の要求に応えるようにチェッカー設定が変更されています。これらの変更は、以前のリリースからのチェッカー設定と新しいリリースの設定が異なっていることを意味している可能性があります。

古い設定に対応する正しいチェッカーが有効になっていることを確認してください。[新機能](#)で更新されたチェッカーのリストを確認し、[チェッカー設定](#)を変更してください。設定が完了したら、修正されないソースコードで最初のバージョン 10.1 統合ビルド解析を実行します。

**注:** 既に最初の 10.1 解析を実行しており、指摘またはステータス変更の一部が欠落している場合は、そのビルドを削除し、チェッカーを再設定して、新しい解析を実行します。

最後のプレアップグレード統合ビルド解析と最初のバージョン 10.1 解析を同じソースコードに実行してから、[2 つのビルドを比較](#)することをお勧めします。こうすると、解析エンジンの変化を正しく評価できます。このバージョンのチェッカーの改良、追加、削除の詳細については、[新機能](#)を参照してください。

## » Klocwork Insight のインストール

Klocwork サーバーと Desktop Analysis プラグインをインストールするには、以下の手順に従います。詳細については、下記の [インストールのトラブルシューティング](#) (40ページ) を参照してください。

### Windows への Klocwork サーバー パッケージのインストール

このページでは、インストールウィザードを使用して Klocwork サーバーパッケージをインストールする手順について説明します。Klocwork サーバーとデスクトップ解析プラグイン両方の自動インストールの手順については、[Windows への自動インストール](#)を参照してください。

ユーザーは、自身で製品ポータルからデスクトップ解析プラグインをインストール ("pull" インストール) することができます。また、ソフトウェア管理システム (SMS) や同様のシステムを利用し、ユーザーに代わってクライアントを自動 ("push") インストールすることもできます (その際は組織内で設定が必要です)。

### お使いになる前に

アップグレードですか?[前バージョンからのアップグレード](#)を参照してください。

ソフトウェアはどこで入手できますか?

[パッケージ](#)は [Klocwork サポート](#)からダウンロードします。通常は、組織内で Klocwork Developer Network へのアクセス権限を持っているのは1人か2人のユーザーだけです。アクセス権限がない場合は新しいアカウントを登録してください。

ライセンスが必要です。まだ持っていない場合は、[ライセンスの取得](#)を参照してください。

#### 2つのバージョンの Klocwork サーバーの実行

たとえば既存のサーバーへのアクセスを継続しながら Klocwork Insight 10.1 サーバーをテストするなど、2セットの Klocwork サーバーを実行する場合は、別々の projects\_root ディレクトリでそれらを実行する (そして、[ポートを適切に設定](#)する) 必要があります。

#### 必要なパーミッション

- ▶ インストールウィザードを使用するか自動インストールを実行するかにかかわらず、Windows パッケージをすべてインストールするには、Administrator アクセス権限が必要です。
- ▶ Klocwork サーバーのインストール時には、Administrator アクセス権限が必要です。
- ▶ Klocwork サーバーを起動する (そして、Klocwork サーバーを Windows Services として実行する) には、Administrator パーミッションが必要です。
- ▶ Windows Server 2008 の場合、ルートディレクトリに配置された projects\_root にアクセスする Klocwork ツールを起動するには、'管理者として実行' オプションを使用する必要があります。

### Windows インストールウィザードによるインストール

Klocwork サーバーのインストールウィザードを、プロンプトに従って実行します。次の点に注意してください。

- ▶ インストール時は、コンピューターに1つ以上の Visual C++ Runtime 再頒布可能パッケージをインストールできます。使用するオペレーティングシステムによっては、インストールの終わりに再起動が必要になる場合があります。
- ▶ インストールパッケージにより、オペレーティングシステムの 32 ビットと 64 ビットの別が自動的に検出され、該当するバージョンの Java がインストールされます。
- ▶ システムロケールが日本語の場合、デフォルトではインストールパッケージが日本語で実行されます。それ以外の場合は、英語で実行されます。
- ▶ インストール中に [Klocworkサーバー構成] 画面でサーバー情報を指定すると、デフォルトの設定をオーバーライドできます。ライセンスサーバーのデフォルトは localhost および 27000 です。Klocwork サーバーのデ



フォルトのポートは8080です。ポートの詳細については、[Klocwork サーバー設定の表示と変更](#)を参照してください。

- » [\[セキュアなサーバー接続 \(HTTPS\) を使用する\]](#) チェックボックスの詳細については、[Klocwork サーバーセキュア接続の使用](#)を参照してください。
- » `projects_root` ディレクトリを作成する場所を求められます。これは、Klocwork サーバーとアプリケーションのデータの場所です。そこには Klocwork サーバーの設定と、統合プロジェクトやビルド解析実行に関する情報が含まれています。また、Klocwork ライセンスファイルも保管されています。デフォルトの場所は `<server_install>\projects_root` です。

**注意:** サーバーパッケージと `projects_root` を `Program Files` ディレクトリにインストールしないでください。Windows 7 と Windows Server 2008 のデフォルトのセキュリティ設定により、`Program Files` ディレクトリ内ファイルへの書き込みが制限されています。

- » インストール時に、ローカルにインストールされたライセンスサーバーを使用する (`[ローカル]`) のか、それともリモートライセンスサーバーに接続する (`[リモート]`) のかを指定します。ローカルはデフォルトオプションであり、ライセンスファイルを参照することが必要です。 `[リモート]` を選択した場合、ライセンスサーバーのホスト名とポート番号を指定する必要があります。
- » インストール中に新しい場所に `projects_root` を指定した場合、インストール後に Windows サービスとして自動的に Klocwork サーバーを起動することができます。このオプションは、サーバーパッケージインストーラの **[Klocwork サーバーをセットアップする]** ダイアログで使用できます。このオプションを選択しない場合、インストール後に手動でサーバーを起動する必要があります。

## PATH 環境変数に関する注意

Windows では、次のように、Klocwork bin ディレクトリが自動的に PATH 環境変数に追加されます。

インストールパッケージ	変更された環境変数	使用される値
サーバー	システムパス	<code>&lt;server_install&gt;\bin</code>
デスクトップ解析ツール	システムパス	<code>&lt;desktop_analysis_tool_install&gt;\bin</code>

## Windows インストールのログファイル

Klocwork インストールパッケージの1つが Windows で起動される場合は常に、インストールログファイルはローカル設定の一時ディレクトリに保存されます。たとえば、Windows 7 ではインストールログファイルは `\Users\<user>\AppData\Local\Temp` に保存されます。

これらのログファイルの名前は、`Klocwork<release_number>-<package>.log` となります。たとえば、Klocwork 10.1 サーバーパッケージのインストールログファイルの名前は、`Klocwork10.1-Server.log` です。

インストール中に、Klocwork のルートインストールディレクトリに `logs` ディレクトリも作成されます。たとえばサーバーインストーラの場合、サーバーが最初に起動され、`projects_root` ディレクトリが初期化されると、このディレクトリのログファイルは、[kwservice](#) 出力を保存します。

## サーバーの起動

サーバーを起動するには、Windows Services 管理または [kwservice start](#) コマンドを使用します。

```
kwservice --projects-root <projects_root> start
```

ここで `<projects_root>` は、インストール時に指定した `projects_root` ディレクトリです。

例

```
kwservice --projects-root C:\klocwork\projects_root start
```

## Klocwork Review にログインします。

Klocwork サーバーを開始した後、Klocwork Review は、Klocwork サーバーマシンの URL と、インストール時に選択した Klocwork サーバーポート (localhost:8080) を使用してアクセスできます。デフォルトでは、Klocwork Insight をインストールした人が Klocwork 管理者になり、プロジェクトルート管理者の役割に割り当てられます。最初は、基本認証アクセス制御メソッドが使用されるので、パスワードなしでログインできます。たとえば、インストール時に使用したユーザーアカウントが jsmith の場合、管理者の役割で Review にログインするには、次の資格情報を使用します。

```
username: jsmith  
password: <empty>
```

セキュリティと認証方法の詳細については、[セキュリティとパーミッション](#)を参照してください。

## Windows への Klocwork サーバー パッケージのインストール -- アップグレードのみ

このページでは、アップグレード時に Klocwork サーバーパッケージをインストールする手順について説明します。

**重要:**これはアップグレードの開始点ではありません。[前バージョンからのアップグレード](#)から始めてください。

### お使いになる前に

ソフトウェアはどこで入手できますか?

[パッケージ](#)は [Klocwork サポート](#) からダウンロードします。通常は、組織内で Klocwork Developer Network へのアクセス権限を持っているのは 1 人か 2 人のユーザーだけです。アクセス権限がない場合は新しいアカウントを登録してください。

必要なパーミッション

- ▶ インストールウィザードを使用するか自動インストールを実行するかにかかわらず、Windows パッケージをすべてインストールするには、Administrator アクセス権限が必要です。
- ▶ Klocwork サーバーのインストール時には、Administrator アクセス権限が必要です。
- ▶ Klocwork サーバーを起動する (そして、Klocwork サーバーを Windows Services として実行する) には、Administrator パーミッションが必要です。
- ▶ Windows Server 2008 の場合、ルートディレクトリに配置された projects\_root にアクセスする Klocwork ツールを起動するには、'管理者として実行' オプションを使用する必要があります。

### インストールウィザードの実行

Klocwork サーバーのインストールウィザードを、プロンプトに従って実行します。次の点に注意してください。

- ▶ インストールパッケージにより、オペレーティングシステムの 32 ビットと 64 ビットの別が自動的に検出され、該当するバージョンの Java がインストールされます。
- ▶ システムロケールが日本語の場合、デフォルトではインストールパッケージが日本語で実行されます。それ以外の場合は、英語で実行されます。

- ▶ **注意:**サーバーパッケージと projects\_root を Program Files ディレクトリにインストールしないでください。Windows 7 と Windows Server 2008 のデフォルトのセキュリティ設定により、Program Files ディレクトリ内ファイルへの書き込みが制限されています。
- ▶ [セキュアなサーバー接続 (HTTPS) を使用する] チェックボックスの詳細については、[Klocwork サーバーセキュア接続の使用](#)を参照してください。
- ▶ projects\_root ディレクトリの場所を求めるプロンプトが表示されたら、移行する古い projects\_root ディレクトリを指定します。
- ▶ インストール時に Klocwork サーバーのホスト名とポート番号を設定する必要はありません。この情報は、移行時に古い projects\_root ディレクトリから取得されます。
- ▶ 自動的に Klocwork サーバーを Windows Services として起動する場合は、このオプションを選択しないでください。サーバーは後のステップで起動されます。
- ▶ Klocwork bin ディレクトリ (<server\_install>\bin) が自動的にシステムパス環境変数に追加されます。

## ログファイル

---

Klocwork インストールパッケージの1つが Windows で起動される場合は常に、インストールログファイルはローカル設定の一時ディレクトリに保存されます。たとえば、Windows 7 ではインストールログファイルは \Users\\AppData\Local\Temp に保存されます。

これらのログファイルの名前は、Klocwork<release\_number>-<package>.log となります。たとえば、Klocwork 10.1 サーバーパッケージのインストールログファイルの名前は、Klocwork10.1-Server.log です。

インストール中に、Klocwork のルートインストールディレクトリに logs ディレクトリも作成されます。たとえばサーバーインストーラの場合、サーバーが最初に起動され、projects\_root ディレクトリが初期化されると、このディレクトリのログファイルは、[kwservice](#) 出力を保存します。

## Unix への Klocwork サーバーパッケージのインストール

このページでは、インストーラを使用して Klocwork サーバーパッケージをインストールする手順について説明します。

### お使いになる前に

---

アップグレードですか?[前バージョンからのアップグレード](#)を参照してください。

ソフトウェアはどこで入手できますか?

パッケージは [Klocwork サポート](#) からダウンロードします。通常は、組織内で Klocwork Developer Network へのアクセス権限を持っているのは1人か2人のユーザーだけです。アクセス権限がない場合は新しいアカウントを登録してください。

ライセンスが必要です。まだ持っていない場合は、[ライセンスの取得](#)を参照してください。

#### 2つのバージョンの Klocwork サーバーの実行

たとえば既存のサーバーへのアクセスを継続しながら Klocwork Insight 10.1 サーバーをテストするなど、2セットの Klocwork サーバーを実行する場合は、別々の projects\_root ディレクトリでそれらを実行する必要があります。

#### システム要件のチェック

必要なパッケージおよび依存関係のリストについては、[システム要件](#)を参照してください。

#### インストールに関する注意事項

- ▶ **Linux 限定:**32 ビット版 Java と 64 ビット版 Java で独立したインストールパッケージがあります。お使いのオペレーティングシステムに適したパッケージを選択してください。
- ▶ Klocwork サーバーを実行するには、ulimit -n を 2048 にする必要があります。

- » ダウンロードした .sh ファイルが実行可能ファイルであることを確認します。chmod コマンドを使用し、適切なパーミッションを設定します。chmod 755 <kw-installer.sh>
- » Klocwork のインストール時にパーミッションを制御するには、umask の値を変更します。
- » Klocwork ソフトウェアはルートユーザー以外でインストールします。
- » この製品をインストールするパスがユーザーがこの製品を呼び出すパスと同じであることを確認してください。たとえば、インストール環境へのローカルパスが /local/tools/klocwork でも、他のマシンにいるユーザーは NFS パス /opt/tools/klocwork を使用してこの製品を呼び出さなければなりません。したがって、ユーザーがこの製品を確実に呼び出せるようにするには、インストール時に /opt/tools/klocwork パスを使用します。
- » 一部の Linux インストールでは、サードパーティライブラリの追加インストールが必要になる場合があります。たとえば、次のようになります。libaio1、libaio、または libaio.x86\_64 です。

**注:** MySQL の制限事項のため、projects\_root ディレクトリを NFS 上に配置しないでください。このディレクトリは、MySQL が完全にはサポートしていない特殊ファイルロッキングを実装しています。 [warning in the MySQL documentation](#) も参照してください。

## インストールパッケージの実行

次のコマンドを実行します。

```
kw-server-installer.10.1.x.x.<platform>.sh [options] <install_directory> [component ...]
```

ここで

- » <platform> は、solaris、linux、または aix です。
- » [<options>] は、サーバーパッケージ用のコマンドラインオプションに一覧表示されているオプションのいずれかです。
- » <install\_directory> には、Klocwork をインストールするディレクトリを指定します。projects\_root ディレクトリのサブディレクトリは指定しないでください。選択したディレクトリが空でない場合は、インストールを続行できません。
- » [<component ...>] は、[サーバーコンポーネントの引数](#)の任意の引数です。コンポーネントが複数個ある場合は、スペースで区切ります。1つ以上のコンポーネントを指定しない場合、パッケージ全体がインストールされます。--list オプションを使用すると、さまざまなコンポーネントの引数のリストを表示することもできます。

## サーバーパッケージ用のコマンドラインオプション

名前	短い名前	説明
--agree	-a	ライセンス契約を表示しないでライセンス条項に同意します。
--database-port <port_number>		データベースサーバーの実行に使用するポート番号を指定します。デフォルト:3306。このオプションは、 <a href="#">kwservice</a> でポート番号を指定することと等価です。
--debug		デバッグ情報を表示します
--force	-f	整合性チェックを行わないでインストールします
--help	-h	このヘルプを表示して終了します

名前	短い名前	説明
--klocwork-port <port_number>		Klocwork サーバーの実行に使用するポート番号を指定します。デフォルト:8080.このオプションは、 <a href="#">kwservice</a> でポート番号を指定することと等価です。
--license-port <port_number>		ライセンスサーバーがローカルに実行されても、非デフォルトのポートで実行されることを指定します。デフォルト:27000.このオプションは、 <a href="#">kwservice</a> でポート番号を指定することと等価です。
--license-server <host>[:<port>]		リモートライセンスサーバーホストを指定します。ホスト引数は必須ですが、ポート引数はオプションです。デフォルト:localhost:27000.このオプションは、 <a href="#">kwservice</a> でホストとポートを指定することと等価です。 <a href="#">組織の FLEXlm サーバーの使用</a> も参照してください。
--list	-l	使用できる機能 (コンポーネント) を列挙します。
--projects-root <directory>	-p	非デフォルト projects_root ディレクトリへの完全パスを指定します。デフォルト:<install_directory>/projects_root指定するディレクトリは、次の条件のうちいずれかを満たしている必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>» まだ存在しません。</li> <li>» 空です。</li> <li>» 以前に作成された有効な projects_root ディレクトリです。指定済みのルート Klocwork インストールディレクトリと同じディレクトリを指定しないでください。Klocwork を projects_root ディレクトリのサブディレクトリにインストールしないでください。</li> </ul> <p>重要:アップグレードしている場合、移行する古い方の projects_root ディレクトリを指定してください。</p>
--use-ssl		<a href="#">Klocwork サーバーセキュア接続 (HTTPS) の使用</a>
--version	-v	Klocwork ソフトウェアのバージョンを表示し、終了します。

## サーバーコンポーネントの引数

インストールするサーバーコンポーネント (機能)	入力する引数
ライセンスサーバー	LicenseServer
Klocwork サーバー	KlocworkServer
管理解析管理ツール	BuildTools

## PATH への Klocwork の追加

Unix では、PATH に <klocwork\_install>/bin を追加することをお勧めします。そうしない場合は、コマンドを <klocwork\_install>/bin から実行する必要があります。

## ライセンスファイルのコピー

---

ライセンスファイルを次の場所にコピーします。

```
<projects_root>/licenses
```

ライセンスファイルには拡張子 `.lic` が必要です。

**注:** 組織のライセンスサーバーの使用など、ライセンスオプションについては、[ライセンスのカスタマイズ](#)を参照してください。

## サーバーの起動

---

`kwservice start` コマンドでサーバーを起動します。

```
kwservice --projects-root <projects_root> start
```

ここで `<projects_root>` は、インストール時に指定した `projects_root` ディレクトリです。

例

```
kwservice --projects-root /space/klocwork/projects_root start
```

サーバーが起動したことを示すメッセージが、サーバーのホスト名およびポート番号、および `projects_root` のパスとともに表示されます。たとえば、次のようになります。

```
Using projects root: /space/klocwork/projects_root Local Host is: serverxyz.com
[13.1.1.142] Starting License Server [started on serverxyz.com:27000] (projects
root is /space/klocwork/projects_root) Starting Database Server [started on
serverxyz.com:3306] (projects root is /space/klocwork/projects_root) Starting
Klocwork Server [started on serverxyz.com:8080] (projects root is
/space/klocwork/projects_root)
```

**重要:** Klocwork サーバーを自動的に起動するスクリプトを作成する場合は、既存のプロセスを阻害するので、スクリプト名に 'klocwork' を使用しないでください。

## Klocwork Review にログインします。

---

Klocwork サーバーを開始した後、Klocwork Review は、Klocwork サーバーマシンの URL と、インストール時に選択した Klocwork サーバーポート (`localhost:8080`) を使用してアクセスできます。デフォルトでは、Klocwork Insight をインストールした人が Klocwork 管理者になり、プロジェクトルート管理者の役割に割り当てられます。最初は、基本認証アクセス制御メソッドが使用されるので、パスワードなしでログインできます。たとえば、インストール時に使用したユーザーアカウントが `jsmith` の場合、管理者の役割で Review にログインするには、次の資格情報を使用します。

```
username: jsmith
password: <empty>
```

セキュリティと認証方法の詳細については、[セキュリティとパーミッション](#)を参照してください。

## Unix への Klocwork サーバーパッケージのインストール -- アップグレードのみ

このページでは、アップグレード時に Klocwork サーバーパッケージをインストールする手順について説明します。

**重要:** これはアップグレードの開始点ではありません。前バージョンからのアップグレードから始めてください。

### お使いになる前に

ソフトウェアはどこで入手できますか?

パッケージは *Klocwork サポート* からダウンロードします。通常は、組織内で Klocwork Developer Network へのアクセス権限を持っているのは 1 人か 2 人のユーザーだけです。アクセス権限がない場合は新しいアカウントを登録してください。

インストールに関する注意事項

- ▶ **Linux** 限定:32 ビット版 Java と 64 ビット版 Java で独立したインストールパッケージがあります。お使いのオペレーティングシステムに適したパッケージを選択してください。
- ▶ Klocwork サーバーを実行するには、`ulimit -n` を 2048 にする必要があります。
- ▶ ダウンロードした `.sh` ファイルが実行可能ファイルであることを確認します。`chmod` コマンドを使用し、適切なパーミッションを設定します。`chmod 755 <kw-installer.sh>`
- ▶ Klocwork のインストール時にパーミッションを制御するには、`umask` の値を変更します。
- ▶ Klocwork ソフトウェアはルートユーザー以外でインストールします。
- ▶ この製品をインストールするパスがユーザーがこの製品を呼び出すパスと同じであることを確認してください。たとえば、インストール環境へのローカルパスが `/local/tools/klocwork` でも、他のマシンにいるユーザーは NFS パス `/opt/tools/klocwork` を使用してこの製品を呼び出さなければなりません。したがって、ユーザーがこの製品を確実に呼び出せるようにするには、インストール時に `/opt/tools/klocwork` パスを使用します。

**注:** MySQL の制限事項のため、`projects_root` ディレクトリを NFS 上に配置しないでください。このディレクトリは、MySQL が完全にはサポートしていない特殊ファイルロッキングを実装しています。[warning in the MySQL documentation](#) も参照してください。

### インストールパッケージの実行

次のコマンドを実行します。

```
kw-server-installer-10.1.x.x.<platform>.sh -p <projects_root> [options]
<install_directory> [component ...]
```

ここで

- ▶ `<platform>` は、`solaris`、`linux`、または `aix` です。
- ▶ `<projects_root>` は移行する古い `projects_root` ディレクトリの場所です。
- ▶ `[<options>]` は、[サーバーパッケージ用のコマンドラインオプション](#) に一覧表示されているオプションのいずれかです。

**注:** インストール時に Klocwork サーバーのホスト名とポート番号を設定する必要はありません。この情報は、移行時に古い `projects_root` ディレクトリから取得されます。

- » <install\_directory> には、Klocwork をインストールするディレクトリを指定します。projects\_root ディレクトリのサブディレクトリは指定しないでください。選択したディレクトリが空でない場合は、インストールを続行できません。
- » [<component ...>] は、[サーバーコンポーネントの引数](#)の任意の引数です。コンポーネントが複数個ある場合は、スペースで区切ります。1つ以上のコンポーネントを指定しない場合、パッケージ全体がインストールされます。--list オプションを使用すると、さまざまなコンポーネントの引数のリストを表示することもできます。返された出力にアスタリスクが表示される場合は、そのコンポーネントが既にインストールされていることを示します。

## 例

```
kw-server-installer-10.1.0.0.linux.sh -p /space/old_projects_root /opt/klocwork
```

## サーバーパッケージ用のコマンドラインオプション

名前	短い名前	説明
--agree	-a	ライセンス契約を表示しないでライセンス条項に同意します。
--database-port <port_number>		データベースサーバーの実行に使用するポート番号を指定します。デフォルト:3306.このオプションは、 <a href="#">kwservice</a> でポート番号を指定することと等価です。
--debug		デバッグ情報を表示します
--force	-f	整合性チェックを行わないでインストールします
--help	-h	このヘルプを表示して終了します
--klocwork-port <port_number>		Klocwork サーバーの実行に使用するポート番号を指定します。デフォルト:8080.このオプションは、 <a href="#">kwservice</a> でポート番号を指定することと等価です。
--license-port <port_number>		ライセンスサーバーがローカルに実行されても、非デフォルトのポートで実行されることを指定します。デフォルト:27000.このオプションは、 <a href="#">kwservice</a> でポート番号を指定することと等価です。
--license-server <host>[:<port>]		リモートライセンスサーバーホストを指定します。ホスト引数は必須ですが、ポート引数はオプションです。デフォルト:localhost:27000.このオプションは、 <a href="#">kwservice</a> でホストとポートを指定することと等価です。 <a href="#">組織の FLEXIm サーバーの使用</a> も参照してください。
--list	-l	使用できる機能 (コンポーネント) を列挙します。
--projects-root <directory>	-p	非デフォルト projects_root ディレクトリへの完全パスを指定します。デフォルト:<install_directory>/projects_root 指定するディレクトリは、次の条件のうちいずれかを満たしている必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>» まだ存在しません。</li> <li>» 空です。</li> </ul>



名前	短い名前	説明
		<p>» 以前に作成された有効な projects_root ディレクトリです。指定済みのルート Klocwork インストールディレクトリと同じディレクトリを指定しないでください。Klocwork を projects_root ディレクトリのサブディレクトリにインストールしないでください。</p> <p>重要:アップグレードしている場合、移行する古い方の projects_root ディレクトリを指定してください。</p>
--use-ssl		<a href="#">Klocwork サーバーセキュア接続 (HTTPS) の使用</a>
--version	-v	Klocwork ソフトウェアのバージョンを表示し、終了します。

## サーバーコンポーネントの引数

インストールするサーバーコンポーネント (機能)	入力する引数
ライセンスサーバー	LicenseServer
Klocwork サーバー	KlocworkServer
管理解析管理ツール	BuildTools

## PATH への Klocwork の追加

Unix では、PATH に <klocwork\_install>/bin を追加することをお勧めします。そうしない場合は、コマンドを <klocwork\_install>/bin から実行する必要があります。

## Mac への Klocwork サーバーパッケージのインストール

このページでは、インストーラを使用して Klocwork サーバーパッケージをインストールする手順について説明します。

### お使いになる前に

アップグレードですか?[前バージョンからのアップグレード](#)を参照してください。

ソフトウェアはどこで入手できますか?

[パッケージ](#)は [Klocwork サポート](#)からダウンロードします。通常は、組織内で Klocwork Developer Network へのアクセス権限を持っているのは1人か2人のユーザーだけです。アクセス権限がない場合は新しいアカウントを登録してください。

ライセンスが必要です。まだ持っていない場合は、[ライセンスの取得](#)を参照してください。

#### 前提条件

- » **JVM** バージョン:マシンに JVM 1.7 Update 25 以降をインストールしてから、Klocwork サーバーパッケージまたはデスクトップ解析プラグインをインストールする必要があります。以前のバージョンの JVM がインストールされている状態でサーバーをインストールしようとすると、"Version of Java is too old" というエラーメッセージが表示されます。Apple は独自バージョンの Java を提供しています。Mac でソフトウェア更新機能を使用してください。
- » アクセスレベル:Mac パッケージのインストール時には、Administrator アクセス権限が必要です。
- » 組織で GCC を使用している場合、正しいバージョンのコンパイラが PATH にあることを確認してから、インストールプログラムを実行してください。GCC コンパイラを PATH に含めると、作成するプロジェクトすべての標準 GCC ライブラリと定義へのデフォルトリンクが自動的に作成されます。標準ライブラリと定

義を除外することで、特定のプロジェクトまたはビルドのデフォルト値をだれでもオーバーライドできることに注意してください。組織でGCCを使用していない場合、インストールプログラム実行時にGCCをPATHに含めないでください。

## デフォルトの設定およびインストールディレクトリ

- » Klocwork サーバーおよびデスクトップ解析パッケージは、/Applications/ および /Library/Frameworks/ ディレクトリにインストールされます。
- » /usr/local/kw/ にあるシンボリックリンクを使用して、コマンドラインツールにアクセスします。
- » projects\_root ディレクトリを指定すると、デフォルトで /Users/Shared/Klocwork/projects\_root/ にインストールされます。
- » Klocwork サーバーは、localhost に設定され、デフォルトのポートで実行されます。

サーバー設定をオーバーライドし、インストール中に projects\_root が作成される場所を指定できます。

## インストールパッケージの実行

Klocworkサーバーのインストールパッケージをデスクトップにコピーし、プロンプトに従って実行します。次の点に注意してください。

- » [サーバー設定] 画面で次のことが調整できます。
  - » projects\_root ディレクトリの場所
  - » Klocwork およびデータベースサーバーのポート
- » インストール時に、ローカルにインストールされたライセンスサーバーを使用する ([ローカル]) のか、それともリモートライセンスサーバーに接続する ([リモート]) のかを指定します。ローカルはデフォルトオプションであり、ライセンスファイルを参照することが必要です。[リモート]を選択した場合、ライセンスサーバーのホスト名とポート番号を指定する必要があります。

## トラブルシューティング

コンソール ([Applications] > [Utilities]) または var/log/install.log から、インストールログをチェックします。

## サーバーの起動

`kwservice start` コマンドでサーバーを起動します。

```
kwservice --projects-root <projects_root> start
```

ここで <projects\_root> は、インストール時に指定した projects\_root ディレクトリです。

### 例

```
kwservice --projects-root /Users/Shared/Klocwork/projects_root start
```

サーバーが起動したことを示すメッセージが、サーバーのホスト名およびポート番号、および projects\_root のパスとともに表示されます。たとえば、次のようになります。

```
Using projects root:/space/klocwork/projects_root Local Host is:serverxyz.com
[13.1.1.142] Starting License Server [started on serverxyz.com:27000] (projects root
is /space/klocwork/projects_root) Starting Database Server [started on
serverxyz.com:3306] (projects root is /space/klocwork/projects_root) Starting Klocwork
Server [started on serverxyz.com:8080] (projects root is /space/klocwork/projects_root)
```

## Klocwork Review にログインします。

Klocwork サーバーを開始した後、Klocwork Review は、Klocwork サーバーマシンの URL と、インストール時に選択した Klocwork サーバーポート (localhost:8080) を使用してアクセスできます。デフォルトでは、Klocwork Insight をインストールした人が Klocwork 管理者になり、プロジェクトルート管理者の役割に割り当てられます。最初は、基本認証アクセス制御メソッドが使用されるので、パスワードなしでログインできます。たとえば、インストール時に使用したユーザーアカウントが jsmith の場合、管理者の役割で Review にログインするには、次の資格情報を使用します。

```
username: jsmith
password: <empty>
```

セキュリティと認証方法の詳細については、[セキュリティとパーミッション](#)を参照してください。

## Mac への Klocwork サーバーパッケージのインストール -- アップグレードのみ

このページでは、アップグレード時に Klocwork サーバーパッケージをインストールする手順について説明します。

**重要:** これはアップグレードの開始点ではありません。前バージョンからのアップグレードから始めてください。

### インストールパッケージの実行

サーバーのインストールパッケージをデスクトップにコピーし、プロンプトに従って実行します。次の点に注意してください。

- ▶ Klocwork サーバーパッケージのすべてのコンポーネントがインストールされます。インストールするコンポーネントを指定することはできません。
- ▶ [サーバー設定] 画面で projects\_root の場所を求めるプロンプトが表示されたら、移行する古い projects\_root ディレクトリを指定します。
- ▶ インストール時に Klocwork サーバーのホスト名とポート番号を設定する必要はありません。この情報は、移行時に古い projects\_root ディレクトリから取得されます。

### インストールディレクトリ

- ▶ サーバーパッケージは、/Applications/ および /Library/Frameworks/ ディレクトリにインストールされます。
- ▶ /usr/local/kw/ にあるシンボリックリンクを使用して、コマンドラインツールにアクセスします。

### トラブルシューティング

コンソール ([**Applications**] > [**Utilities**]) または var/log/install.log から、インストールログをチェックします。

## デスクトップ解析プラグインのダウンロードと展開

デスクトップ解析ツールとは、デスクトップ解析プラグインおよび Klocwork コマンドラインツールを指します。

Klocwork 管理者は、<http://developer.klocwork.com/support/downloads> (デスクトップツールパッケージを参照) からデスクトップ解析ツールをダウンロードし、Klocwork サーバーのインストールディレクトリ clients 内に

ツールを配置してください。このようにすることで、ユーザーは、デスクトップ解析ツールをポータルから直接ダウンロードできるようになります。ダウンロードしたデスクトップ解析プラグインは、ユーザーが各自簡単にインストールできます。

企業の IT ポリシーにもよりますが、Klocwork デスクトップ解析ツールを管理者自身がインストールするかどうかは、管理展開計画の一環として管理者が決めてください。この場合は、下記の手順に従って Klocwork デスクトップツールをダウンロードしてください。ユーザーのデスクトップにプラグインをインストールする詳しい方法については、[インストール手順](#)を参照してください。

Klocwork デスクトップツールパッケージはプラットフォーム別に構築されており、それぞれのアーカイブには、Eclipse(ダウンロードサイトアーカイブ)、IntelliJ IDEA、Visual Studio 向けプラグインのほか、コマンドラインツールパッケージが含まれています。

パッケージ	プラットフォーム
kw-insight-desktop-tools.10.1.0.xxxx.windows.zip	Windows
kw-insight-desktop-tools.10.1.0.xxxx.mac.zip	Mac
kw-insight-desktop-tools.10.1.0.xxxx.linux.zip	Linux
kw-insight-desktop-tools.10.1.0.xxxx.solaris.zip	Solaris

**注:** パスの xxxx はマイナービルド番号です。

**Klocwork** デスクトップツールを展開するには、以下の手順に従います。

1. developer.klocwork.com の[ダウンロードサイト](#)で、該当する Klocwork デスクトップツールパッケージをダウンロードします。

このサイトにログインするには、Klocwork Developer Network ユーザー ID およびパスワードが必要です。Klocwork Developer Network ユーザー ID およびパスワードがない場合は、新規ユーザーとして登録してください。

2. デスクトップツールパッケージアーカイブをダウンロードしたら、<server\_install\_path>\clients ディレクトリに解凍します。<server\_install\_path> は、Windows の Klocwork サーバーのインストール場所です。
  - » Linux では、フォルダーは <server\_install\_path>/clients にあります
  - » Mac では、フォルダーは /usr/local/kw/server/clients または /Library/Frameworks/KlocworkServer.framework/Versions/10.1/clients にあります

**注:** このディレクトリには、clients.json という単一のファイルがあります。このファイルは削除しないでください。

1. ポータルを更新し、ダウンロードリストがポータルの右側に表示されることを確認します。ダウンロードリストには、デスクトップ解析プラグインのリンクがあります。ユーザーは、デスクトップ解析ツールをここから直接ダウンロードしてインストールできます。
2. ツール展開についてユーザーに通知するには、ポータルおよび[インストール手順](#)のリンクを送付するか、プラグインのダウンロードおよびインストール方法を説明する社内メールを送付してください。

## デスクトップ解析プラグインのインストール

Klocwork 管理者として Klocwork サーバーをインストールして起動し、デスクトップ解析プラグインをダウンロードしてサーバーに展開した後は、ユーザー自身が、製品ポータルにアクセスしてデスクトップ解析プラグインを

ダウンロードすることができるようになります。コマンドラインで作業するにしても、両方の組み合わせで作業するにしても、コマンドラインツールをインストールするようにお勧めします。

**注:** [ダウンロード]のセクションは、Klocwork 管理者がプラグインを展開するまではポータルに表示されません。詳細については、[デスクトップ解析プラグインのダウンロードと展開](#)を参照してください。

デスクトップ解析プラグインの展開の詳細については、[デスクトップ解析プラグインのダウンロードと展開](#)を参照してください。

プラグインをインストールするには、Insight をインストールしたマシンで製品を開きます。たとえば、

`http://server01:8080/portal/Portal.html` にアクセスします。

## プラグインのインストール

デスクトップ解析ユーザーとしてサーバーからインストールパッケージをダウンロードした後で、インストーラを実行します。Windows および Mac の場合、順を追ってインストールプロセスを行うためのインストールウィザードが提供されています。

お使いになる前に

- ▶ インストール中は、Klocwork サーバーのデフォルト設定をオーバーライドすることができます。ライセンスサーバーのデフォルトは localhost および 27000 です。Klocwork サーバーのデフォルトのポートは 8080 です。
- ▶ **Windows** の場合:[現在の宛先ディレクトリの変更] 画面:パッケージを Windows Vista、Windows Server 2008、および Windows 7 マシンの Program Files ディレクトリにインストールすることは避けてください。Windows ユーザーアクセス制御 (UAC) により、Program Files ディレクトリへの書き込みが制限されています。
- ▶ [Klocwork サーバー構成] 画面:Klocwork 管理者により提供された Klocwork サーバー情報を指定します。[Klocwork サーバーへのセキュア接続](#)が設定されている場合は、[セキュアなサーバー接続 (HTTPS) を使用する]を選択します。
- ▶ **JVM** バージョン:デスクトップ解析プラグインは、JVM 1.6 Update 45 以降か、JVM 1.7 update 25 以降をインストールしてからインストールする必要があります。
- ▶ デスクトッププラグインをインストールする前に適切な管理者アクセス権があることを確認してください。
- ▶ **Unix** の場合:
  - ▶ Klocwork Insight のインストール時にパーミッションを制御するには、umask の値を変更します。
  - ▶ 既存インストールのパーミッションを変更するには、chmod を使用します。
  - ▶ Klocwork ソフトウェアはルートユーザー以外でインストールします。
  - ▶ **Linux** 限定:32 ビット版 Java と 64 ビット版 Java で独立したインストールパッケージがあります。お使いのオペレーティングシステムに適したパッケージを選択してください。

### Windows と Mac の場合

Windows と Mac にそれぞれプラグインをインストールする場合は、パッケージをダウンロードしてインストーラを実行してください。インストーラを実行すると、残りのプロセスを順を追って完了することができます。

### Mac の場合

- ▶ ファイルは次の場所にインストールされます: `/Library/Frameworks/`
- ▶ `/usr/local/kw/` にあるシンボリックリンクを使用して、コマンドラインツールにアクセスします。

### Unix の場合

Unix では、次のコマンドを使用してパッケージをインストールできます。

```
kw-insight-<plug-in>-installer.sh [options] <install_directory>
```

ここで

- » <plug-in> はインストールするプラグインの名前です。たとえば、'cmd' または 'idea' です。
- » [options] は指定するコマンドラインオプションのいずれかです。ほとんどの場合、ここに '-a' を指定するだけで、Klocwork のライセンス条項に同意することを示します。-h を使用して、使用可能なコマンドラインオプションを確認します。
- » <install\_directory> は、Insight プラグインがインストールされるディレクトリを指定します。

### PATH への bin ディレクトリの追加

PATH 環境変数に <command\_line\_tools\_install>/bin ディレクトリを追加することをお勧めします。このドキュメンテーションの手順は、PATH に bin ディレクトリを既に追加したことを前提としています。

### Unix のデスクトップ解析プラグインパッケージのコマンドラインオプション

名前	短い名前	説明
--agree	-a	ライセンス契約を表示しないでライセンス条項に同意します。
--force	-f	整合性チェックを行わないでインストールします。
--help	-h	このヘルプを表示して終了します。
--klocwork-server <host>[:<port>]		Klocwork サーバーのホスト名とポート番号を指定します。デフォルト:localhost:8080
--license-server <host>[:<port>]		ライセンスサーバーのホスト名とポート番号を指定します。デフォルト:localhost:27000
--use-ssl		<i>Klocwork サーバーセキュア接続を使用します。</i>
--version	-v	Klocwork ソフトウェアのバージョンを表示し、終了します。
--debug		デバッグ情報を表示します。

### 例:Linux へのコマンドラインツールパッケージのインストール

```
kw-cmd-installer.linux64.sh -a /home/jlee/klocwork
```

ここで

- » -a は、Klocwork のライセンス条項に同意することを示します。
- » /home/jlee/klocwork は、Klocwork Insight がインストールされる場所を指定します。

### 例:Linux への Klocwork Desktop Plug-in for IntelliJ IDEA のインストール

```
kw-idea-installer.linux64.sh -a "/opt/klocwork/user 10.1" --klocwork-server server1:8084
```

ここで

- » -a は、Klocwork のライセンス条項に同意することを示します。
- » /opt/klocwork/user 10.1 は、Klocwork ユーザー インストールディレクトリのパスです。
- » --klocwork-server は、Klocwork サーバーの名前とポートを指定します。

## Eclipse 更新サイトからの Klocwork プラグインのインストール

前提条件:

- » ダウンロードのセクション (Eclipse 更新サイトのリンクが含まれます) は、Klocwork 管理者がプラグインを展開するまではポータルに表示されません。詳細については、[デスクトップ解析プラグインのダウンロードと展開](#)を参照してください。

Klocwork Desktop Analysis plug-in for Eclipse をインストールするには、次の手順に従います。

- 1.Insight 製品ポータルの [ダウンロード] で **[Eclipse 更新サイト]** をクリックします。
- 2.ご使用のプラットフォームに固有の URL をコピーします。
- 3.Eclipse を開きます。

**重要:** Eclipse C/C++ 向け Klocwork プラグインには Microsoft Visual C++ 2008 再頒布可能パッケージ (32 ビット) と Microsoft Visual C++ 2012 再頒布可能パッケージ (32 ビット) が必要であり、これらのパッケージは手動でインストールする必要があります。これらのパッケージをダウンロードするには、Insight 製品ポータルにアクセスし、[ダウンロード] で **[Eclipse 更新サイト]** を選択します。

使用している Eclipse のバージョンに基づき、次の手順に従います。

Eclipse 3.4	Eclipse 3.5 以降
4.Eclipse で、[ヘルプ]>[ソフトウェアの更新] にアクセスします。	4.Eclipse で、[ヘルプ]>[新しいソフトウェアのインストール] にアクセスします。

**Wind River Workbench:**[高度なデバイス開発] パースペクティブ (右上に近いボタン) を選択して、[ヘルプ]>[ソフトウェアの更新] にアクセスします。

- 5.[インストール] ダイアログで、URL を [作業対象:] フィールドに貼り付けます。
- 6.[Klocwork ツール] の横にあるボックスをオンにし、[次へ] をクリックすると、ウィザードによってインストールプロセスが説明されます。
- 7.Eclipse を再起動するようにプロンプトが表示されたら、[はい] をクリックします。

### トラブルシューティング

- » [パッチをインストールした後で Visual Studio でパッケージロードエラーが発生する](#)
- » [インストール中のセットアップ初期化ファイルの読み取りエラー](#)

## » 新規またはアップグレード版 IDE 向けカスタムインストールの実行

Klocwork Insight のインストール後に IDE をアップグレードした場合、前のバージョンのプラグインのアンインストールが必要です。アンインストールの詳細については、[Klocwork Insight のアンインストール](#)を参照してください。

アンインストール後に次のいずれかを実行します。

- » Klocwork デスクトップ解析プラグインインストーラを再実行するか、
- » 新しいバージョンの Eclipse で更新サイトから Eclipse プラグインをインストールする

Klocwork Desktop コマンドラインまたは Klocwork Desktop を使用している場合は、これ以上行うことはありません。

アップグレードステップは、以下のように、IDE プラグインにより提供されます。

### Visual Studio

Windows で、[コントロールパネル]>[プログラムと機能]に移動します。[**Klocwork for Visual Studio**]を右クリックし、[変更]を選択して設定を変更します。

インストールしない機能の選択を解除します。

### Eclipse

アップグレードする Eclipse のバージョンに関係なく、Eclipse プラグインは更新サイトからインストールしてください。[Eclipse 更新サイトからの Klocwork プラグインのインストール](#)を参照してください。

### IntelliJ IDEA

IntelliJ IDEA のアップグレードバージョンを同じディレクトリにインストールした場合は、これ以上行うことはありません。

別の場所に IDEA をインストールした場合は、次のようにします。

#### » Windows:

IntelliJ iDEA インストーラの Klocwork デスクトップ解析を再実行します。

インストール中、Klocwork Insight によって IntelliJ IDEA ディレクトリが自動検出され、その場所にプラグインディレクトリがインストールされます。複数の IDEA インストールディレクトリが検出された場合は、参照して希望する場所を指定します。

#### » Linux:

次のコマンドを実行します。

```
kw-idea-installer.linux64.sh -a <user_install>
```

ここで

- » <user\_install> は、Klocwork をインストールするディレクトリです。選択したディレクトリが空でない場合は、インストールを続行できません。



例:

```
kw-idea-installer.linux64.sh - a /home/jlee/Klocwork
```

## » インストールの後

以下のトピックでは、インストールのテスト、自動インストールの実行、分散解析パッケージのインストール、トラブルシューティングなど、インストール後の作業について説明します。

### 分散解析パッケージのインストール

分散解析コンポーネントは、個別の Klocwork インストールパッケージとして使用できます (たとえば、Linux の場合、パッケージは `kw-dist-build-installer.10.x.x.xx.linux.sh` です)。

#### Unix へのインストール

Klocwork の完全な分散解析パッケージを Unix にインストールするには:

1. お使いのオペレーティングシステムに合った Klocwork 分散解析インストールパッケージを一時ディレクトリにダウンロードします。
2. ダウンロードした `.sh` ファイルが実行可能ファイルであることを確認します。 `chmod` コマンドを使用し、適切なパーミッションを設定します。次のように入力します。

```
chmod 755 <executable-name>
```

**注:** Klocwork ソフトウェアはルートユーザー以外でインストールしません。

3. 実行可能ファイルを、適切なオプションおよび引数を指定して実行します。

```
<kw-dist-analysis-installer> -a -i <install_directory>
```

ここで

`<kw-dist-analysis-installer>` はインストール実行可能ファイルの名前です。

`-a` は、ライセンス契約を承諾することを示します。

`<install_directory>` は、分散解析パッケージをインストールする場所の絶対パスです。

#### Windows へのインストール

Windows で、インストールウィザードを使用するか、自動インストールを実行します。

Klocwork 分散解析パッケージを Windows にインストールするには、インストールするマシンの管理者パーミッションが必要です。

インストールウィザードによる **Klocwork** のインストール

Klocwork Insight の分散解析パッケージまたはコンポーネントをローカルマシンにインストールするには:

1. Windows 向けの Klocwork 分散解析パッケージを一時ディレクトリにダウンロードします。
2. インストール実行可能ファイルを実行します。

グラフィカルユーザーインターフェイスにより初期化および準備が実行されます。

ウィザードの [ようこそ] 画面が表示されます。

3. [次へ] をクリックします。

[使用許諾契約書] 画面が表示されます。

4. 使用許諾契約書を確認し、承諾する場合は、[使用許諾契約書に同意します] をクリックします。

5. [次へ] をクリックします。

[宛先ディレクトリ] 画面が表示されます。

デフォルトの宛先ディレクトリは、空き領域が最大のローカルドライブです。たとえば、次のようになります。

D:\Klocwork\Distributed Analysis 10.1\

6. デフォルトのフォルダーを使用する場合は [次へ] を、別の場所に Klocwork をインストールする場合は [変更...] をクリックします。

[変更...] をクリックすると、[現在の目的のフォルダの変更] 画面が表示されます。Klocwork をインストールするフォルダーを参照します。

**重要:** パッケージを Windows Vista、Windows Server 2008、および Windows 7 マシンの Program Files ディレクトリにインストールすることは避けてください。Windows ユーザーアクセス制御 (UAC) により、Program Files ディレクトリへの書き込みが制限されています。

7. [OK] をクリックします。

8. [次へ] をクリックします。

[セットアップの種類] 画面が表示されます。

デフォルトでは、[完全] ボタンが選択されています。

9. Klocwork 分散解析パッケージ全体を 1 台のマシンに選択する場合は、[完全] ボタンを選択した状態のまま、ステップ 11 に進みます。

マシンにインストールするコンポーネントを選択する場合は、[カスタム]、[次へ] の順にクリックします。

[カスタムセットアップ] 画面が表示され、2 つのオプションが示されます。

**注:** Windows インストールウィザードでは、"機能" は "コンポーネント" を指します。

マシンにインストールしないコンポーネントがある場合は、そのコンポーネントのアイコンをクリックした後、[インストールしない] をクリックします。無効に "しない" コンポーネントはすべてインストールされます。インストール "しない" コンポーネントに基づき、**Klocwork Distributed Analysis Server** または **Klocwork** 分散解析エージェントの選択を解除します。

**重要:** 選択した場所に十分なディスク領域があることを確認してください。システム要件を参照してください。対象のマシンで使用できるディスク領域を表示するには、[領域] をクリックします。

10. [次へ] をクリックします。

[プログラムのインストール準備の完了] 画面が表示されます。

11. インストール設定をレビューまたは変更するには、[戻る] をクリックします。現在の設定でインストールを継続するには、[インストール] をクリックします。

Klocwork がインストールされている間、進行状況を示すバーが表示されます。

[セットアップウィザード完了] 画面が表示されます。

12. [終了]をクリックします。

## Windows での自動インストールの実行

分散解析パッケージの自動インストールを Windows で実行するには、次のコマンドを入力します。

```
<kw-dist-build-installer> /S/v"/qn [ADDLOCAL=<component_code>]  
INSTALLDIR=<install_directory> /lv* <log_file>"
```

ここで

- › <kw-dist-build-installer> は Windows 分散解析インストール実行可能ファイルの名前です。
- › ADDLOCAL=<component\_code> はオプションであり、パッケージのサーバーコンポーネントまたはエージェントコンポーネントのみをインストールできます。
- › <component\_code> は、DistributedAnalysisServer または DistributedAnalysisAgent です。
- › <install\_directory> は、インストールするディレクトリの絶対パスです。
- › /lv\* <log\_file> では、インストールエラーをファイルに記録できます (推奨)。指定するディレクトリは既に存在していることが必要です。ログファイルの絶対パスを使用します。

**注:** スペースを含む値を、エスケープ引用符 (") で囲みます。

例:

```
kw-dist-build-installer.10.1.0.0.windows.exe /S /v"/qn  
INSTALLDIR="C:\Klocwork\10.1.0.0\Distributed Analysis\" <br/>/lvx*  
C:\Klocwork\dist_analysis.log"
```

## Windows インストールのログファイル

Klocwork インストールパッケージの1つが Windows で開始される場合、インストールログファイルは %USERPROFILE%\Local Settings\Temp に保存されます。

これらのログファイルの名前は、Klocwork<release-number>-<package>.log となります。たとえば、Klocwork 10.1 サーバーパッケージのインストールログファイルの名前は、Klocwork10.1-Server.log です。

Windows へのインストール中に、Klocwork のルートインストールディレクトリにログディレクトリも作成されます。たとえばサーバーインストーラの場合、サーバーが最初に起動され、projects\_root ディレクトリが初期化されると、このディレクトリのログファイルは、*kwservice* 出力を保存します。

インストールに関するトラブルシューティングの必要がある場合は、これらのログを確認します。

## Windows への自動インストール

Klocwork Insight の自動インストールを実行するには、次のコマンドを入力します。

```
start /WAIT <installer.exe> /w /S [/L<langid>] /v"/qn INSTALLDIR=<install_directory>  
/log <install_log> PROPERTY=VALUE PROPERTY1=VALUE1..."
```

ここで

- › <installer.exe> は、使用するインストールパッケージの名前、たとえば kw-server-installer.10.1.0.0.windows.exe です。

- › /w パラメーターにより、親プロセスがインストールプロセスを待機します。詳細については、[InstallShield ヘルプライブラリ](#)を参照してください。

**注:** システム変数 %errorlevel% は、インストールが正常に行われたかどうかのチェックに使用されます。

- › /L<langid> により、インストールパッケージのデフォルト言語を変更できます。デフォルトでは、システムロケールが日本語の場合、インストールパッケージが日本語で実行されます。それ以外の場合は、英語で実行されます。日本語を指定するには、/L1041 を使用します。
- › /v は、後続パラメーターを MSI エンジンに直接渡します。/v に続く文字列はすべて、引用符で囲む必要があります。
- › /qn は、インストーラを自動モードで実行します。
- › <install\_directory> は、Klocwork Insight をインストールするディレクトリの絶対パスです。デフォルトは、空き領域が最大のローカルドライブのルートディレクトリです。%LOCAL\_DRIVE%\Klocwork\<package> で、<package> はサーバーまたはデスクトップパッケージの1つです。選択したディレクトリが空でない場合は、インストールを続行できません。
- › PROPERTY=VALUE は **自動インストールに使用できる PROPERTY=VALUE のペア**のいずれかです。

**注:** スペースを含む値を、エスケープ引用符 (\) で囲みます。

## 例

```
start /WAIT kw-server-installer.10.1.0.0.windows.exe /w /S /v"/qn
INSTALLDIR="D:\Klocwork\Server 10.1\" /log C:\server.log"
```

### デスクトップ解析ツールのインストール

自動インストールを使用してデスクトップ解析ツールをインストールできますが、最初に <http://developer.klocwork.com/support/downloads> (デスクトップツールパッケージを参照) からデスクトップ解析ツールをダウンロードし、ローカルマシンのフォルダーに解凍する必要があります。デスクトップツールパッケージには、それぞれのデスクトップツールのインストールバイナリが含まれており、プラットフォーム別に構築されています。詳細については、[デスクトップ解析プラグインのダウンロードと展開](#)を参照してください。

ローカルコンピューターのディレクトリに解凍して配置したら、インストールするデスクトップツールのインストーラのファイル名を指定して、コマンドラインから自動インストールを実行します。次の例では、IntelliJ IDEA プラグインがカスタムディレクトリにインストールされています。

## 例

```
start /WAIT kw-insight-idea-installer.windows.exe /w /S /v"/qn
INSTALLDIR="C:\kw\idea_plugin\" /log C:\idea_install.log"
```

## 特定のコンポーネントの自動モードでのインストール

1つ以上の特定の Klocwork Insight コンポーネントを自動的にインストールする (データベースサーバーをインストールするなど) には、コマンドラインに ADDLOCAL=<component\_arguments> を含めます。ここで <component\_arguments> は、次の表の1つまたは複数の引数です。複数の引数を含める場合は、カンマで区切る必要があります。

インストールするサーバーコンポーネント (機能)	入力する引数
ライセンスサーバー	LicenseServer

インストールするサーバーコンポーネント (機能)	入力する引数
Klocwork サーバー	KlocworkServer
管理解析管理ツール	BuildTools

## 自動インストールに使用できる **PROPERTY=VALUE** のペア

### サーバーパッケージ

PROPERTY=VALUE	説明
ADDLOCAL=<component_list>	特定のコンポーネントのみをインストールします。このプロパティに使用できる値については、前のセクションの表を参照してください。
INSTALLDIR=<install_directory>	指定するディレクトリにインストールします。デフォルト:現在の作業ディレクトリ。選択したディレクトリが空でない場合は、インストールを続行できません。
PROJECTS_ROOT=<projects_root_directory>	指定するディレクトリの projects_root ディレクトリを設定します。デフォルトは <Server_install>/projects_root です。完全パスを指定します。  <b>重要:</b> アップグレードしている場合、移行する古い方の projects_root ディレクトリを指定してください。
LICENSE_HOST=<host_name>	ライセンスサーバーのホスト名を指定します。デフォルト:localhost
LICENSE_PORT=<port_number>	ライセンスサーバーのポート番号を指定します。デフォルト:27000
MYSQL_HOST=<host_name>	データベースサーバーのホスト名を指定します。デフォルト:localhost
MYSQL_PORT=<port_number>	データベースサーバーのポート番号を指定します。デフォルト:3306
KWSERVER_HOST=<host_name>	Klocwork サーバーのホスト名を指定します。デフォルト:localhost
KWSERVER_PORT=<port_number>	Klocwork サーバーのポート番号を指定します。デフォルト:8080
USE_SSL=1	<b>セキュア Klocwork サーバー接続を使用</b> する場合は、この値を 1 に設定します。デフォルト:0

**注:** サーバーインストーラも ALLUSERS プロパティをサポートします。詳細については、[MSDN の記事を参照](#)してください。

### デスクトッププラグイン

名前	説明
ADDLOCAL=<component_arguments>	特定のコンポーネントのみをインストールします。このプロパティに使用できる値については、前のセクションの表を参照してください。
CREATE_SHORTCUTS=""	デスクトップショートカットの作成を抑制します。デフォルト:1 (ショートカットを作成)
IDEINSTALLDIR= <directory>	IntelliJ IDEA がインストールされるディレクトリ。
INSTALLDIR=<directory>	指定するディレクトリにインストールします。デフォルト:現在の作業ディレクトリ。選択したディレクトリが空でない場合は、インストールを続行できません。
LICENSE_HOST=<host_name>	<host_name> で実行するライセンスサーバーを使用します。
LICENSE_PORT=<port_number>	<port_number> で実行するライセンスサーバーを使用します。
KWSERVER_HOST=<host_name>	<host_name> で実行する Klocwork サーバーを使用します。
KWSERVER_PORT=<port_number>	<port_number> で実行する Klocwork サーバーを使用します。
USE_SSL=1	<a href="#">セキュア Klocwork サーバー接続を使用</a> する場合は、この値を1に設定します。デフォルト:0

## インストールのテスト

Klocwork インストールをテストするには、サンプルプロジェクト 'demosthenes' を使用するか、独自のサンプルプロジェクトを作成して解析します。

### Klocwork Review にログインします。

Klocwork サーバーを開始した後、Klocwork Review は、Klocwork サーバーマシンの URL と、インストール時に選択した Klocwork サーバーポート (localhost:8080) を使用してアクセスできます。デフォルトでは、Klocwork Insight をインストールした人が Klocwork 管理者になり、プロジェクトルート管理者の役割に割り当てられます。最初は、基本認証アクセス制御メソッドが使用されるので、パスワードなしでログインできます。たとえば、インストール時に使用したユーザーアカウントが jsmith の場合、管理者の役割で Review にログインするには、次の資格情報を使用します。

```
username: jsmith
password: <empty>
```

セキュリティと認証方法の詳細については、[セキュリティとパーミッション](#)を参照してください。

### demosthenes の使用

Demosthenes サンプルプロジェクトは、<Klocwork\_install>\samples で見つけることができます (C/C++ のサンプルプロジェクト)。

このディレクトリには、サンプルプロジェクトおよび readme ファイルが含まれており、Klocwork の調査またはデモンストレーションに使用するサンプル解析の設定方法が示されています。

**注:** Unix 上でサンプルプロジェクトを正常にビルドするには、GNU make、GCC、および bash が必要です。

## サンプルプロジェクトを作成して解析する

---

サーバーパッケージのインストールをテストするために、サンプルプロジェクトを作成して解析し、解析の結果を Klocwork Review で表示できます。

- » [C/C++ 統合ビルド解析 - チートシート](#)
- » [Java 統合ビルド解析 - チートシート](#)
- » [C-sharp 統合ビルド解析 - チートシート](#)

## インストールのトラブルシューティング

インストールに支援が必要ですか。製品のインストールに苦労しましたか。このセクションでは基本的なインストールの問題について説明し、トラブルシューティング情報を提供します。

### Windows にインストールした Klocwork Insight の修復

---

Klocwork インストールのファイルが誤って損傷したり削除されたりした場合は、インストールを修復できます。

たとえば Klocwork のアンインストールを行おうとしたときに "致命的エラー:アンインストールできません" というエラーメッセージが表示された場合、Klocwork のインストールが損傷したことがわかります。

このような場合、エラーメッセージダイアログで **[OK]** をクリックしてアンインストールをキャンセルし、以下の修復手順を実行してからアンインストール手順を再実行します。

Windows にインストールした Klocwork を修復するには:

1. [スタート]メニューから、[コントロールパネル]>[プログラムの追加と削除]をクリックします。  
[プログラムの追加と削除]ダイアログが表示されます。
2. 修復する Klocwork パッケージを選択し、[サポート情報を参照するには、ここをクリックしてください]を選択します。  
選択した Klocwork パッケージの [サポート情報] ダイアログが表示されます。
3. [修復]をクリックします。  
インストールがクリーン状態に戻ります。

### ソケットファイルのパスが長すぎるためにデータベースサーバーを起動できない

---

ソケットファイルのパス (区切り文字とソケットファイル名を含む) が 107 文字を超える場合、Klocwork データベースサーバーを起動できません。データベースログには、これが問題であることが示されます。

ソケットファイルは次のディレクトリにあります。

```
<projects_root>/locks
```

この状況を解決するには、データベースサーバーのポート番号の長さ (1 ~ 5 文字) に応じて、パス長が 68 ~ 72 文字未満となる別の projects\_root にプロジェクトを移動します。

projects\_root の移動の詳細については、[projects\\_root ディレクトリの移動または追加作成](#)を参照してください。

### Windows のインストール後に Klocwork サーバーを起動できない

---

Windows への Klocwork サーバー パッケージのインストール後に次のいずれかのメッセージが表示される場合:

- » Error 1920. Service Klocwork 10.1 Server (Klocwork 10.1 Server) failed to start. Verify that you have sufficient privileges to start system services.



- » Service Klocwork 10.1 License Server failed to start. See installation log for more details.

以前のバージョンの Klocwork サーバーや Klocwork ライセンスサーバーが Insight 10.1 のインストール時に指定したポートで実行されていることが考えられます。同じポートで2つのバージョンのサーバーを実行することはできません。

`kwservice set-service-property` を使用して、10.1Klocwork サーバーや 10.1Klocwork ライセンスサーバー用の異なるポート番号を設定してから **サーバーを起動する** 必要があります。

## データベース接続エラー

**重要:** MySQL の制限事項のため、`projects_root` ディレクトリを NFS 上に配置しないでください。このディレクトリは、MySQL が完全にはサポートしていない特殊ファイルロッキングを実装しています。 [warning in the MySQL documentation](#) も参照してください。

次のエラーが表示された場合:

Error occurred while connecting to database: Database connection to <database> refused: Communications link failure due to underlying exception

エラーメッセージ内のホスト名を確認します。ホスト名がドメインを含む完全修飾ホスト名 (`server1.klocwork.com` など) ではない場合は、データベースサーバーの完全修飾ドメイン名を設定する必要があります。

そのためには、次の手順に従います。

1. 次のコマンドによりデータベースサーバーを停止します。

```
kwservice --projects-root <projects_root> stop database
```

2. 次のコマンドを実行します。

```
kwservice --projects-root <projects_root> set-service-property database host <fully-qualified-host-name>
```

たとえば、次のようになります。

```
kwservice --projects-root C:\Klocwork\projects_root set-service-property database host server1.klocwork.com
```

3. 次のコマンドによりデータベースサーバーを起動します。

```
kwservice --projects-root <projects_root> start database
```

## パッチをインストールした後で Visual Studio でパッケージロードエラーが発生する

以下のいずれかを実行できます。

- » パッチをアンインストールして最新のフルバージョンの Visual Studio プラグインをインストールするか、

» <VS\_user\_install>\inforceVSNET ディレクトリから次のコマンドを実行します。

```
regsvr32 IfPkgVS2005.dll
```

## チームに伝達しなければならないこと

チームの開発者、マネージャー、ビルドエンジニア、および管理者は、次のことを知る必要があります。

- » Klocwork サーバーの URL (マネージャーと開発者が Klocwork Review および Klocwork Cahoots にアクセスして、それぞれのデスクトップ解析プラグインをインストールできるようにするため)
- » "/documentation" を追加した Klocwork サーバーの URL によって、すべての Klocwork オンラインドキュメンテーションを入手できること
- » [projects\\_root ディレクトリ](#) の場所 (Klocwork 管理者のみ)
- » ライセンスサーバーのホストとポート
- » Klocwork サーバーを起動および停止するパーミッションを持つユーザーのユーザー ID、および Windows の場合はサーバーを Windows Services として管理する必要があるかどうか

バックアップなどのためにデータベースにアクセスする必要があるユーザーが存在し、パスワードでデータベースをロックした場合、そのユーザーにパスワードを付与します。詳細については、[Klocwork データベースのパスワードの設定](#)を参照してください。

## » Klocwork Insight のアンインストール

アンインストールの前に

サーバーパッケージまたは connected desktop (コネクテッドデスクトップ) のインストールを変更またはアンインストールする場合、最初に Klocwork サーバーを停止する必要があります。 [Klocwork サーバーの停止](#) を参照してください。

サーバーパッケージをアンインストールする場合、サーバーの停止に加え、projects\_root ディレクトリや、変更した kwfilter.conf などの構成ファイルのバックアップコピーを作成する必要があります。Unix および Windows の場合、コンパイラ設定ファイルは <server\_install>/config にあります。Mac の場合は、/Library/Frameworks/KlocworkServer.framework/<version>/config にあります。バックアップデータの作成方法の詳細については、 [Klocwork データのバックアップ](#) を参照してください。

Windows バージョンの Klocwork サーバーパッケージは、projects\_root ディレクトリまたは構成ファイルをアンインストールしないため、特に 7.7 より前のバージョンをアンインストールする場合は、念のためこれらのディレクトリのバックアップを作成すると役立ちます。Unix システムの場合は、自動アンインストールがないため、projects\_root および保存の必要のあるその他のデータファイルのバックアップを、サーバーのインストールディレクトリ以外に必ず作成してください。その後、サーバーのインストールディレクトリを削除できます。

[Windows にインストールした Klocwork Insight の修復](#) も参照してください。

**Windows** におけるインストール済みのコンポーネントの表示またはインストールの変更

1つ以上の Klocwork コンポーネントを削除する場合、または現在インストールされているコンポーネントを確認する必要がある場合は、次の手順に従います。たとえば、新しいバージョンのインストールの前に Klocwork をアンインストールする必要がある場合、アンインストールの前に現在インストールされているコンポーネントを確認し、新しいバージョンの同じコンポーネントをインストールできるようにします。

インストールされているコンポーネントを表示、または Klocwork を部分的にアンインストールするには:

1. [スタート]メニューから、[コントロールパネル]>[プログラムの追加と削除]に移動します。

**Windows 7:**[コントロールパネル]ウィンドウから、[プログラム]の下の [プログラムのアンインストール] を選択します。

2. 情報を表示するサーバーまたはデスクトッププラグインまでスクロールしてクリックします。
3. パッチに関する情報を見つけるために、[プログラムの追加と削除]の上部にある [更新プログラムの表示] チェックボックスが選択されていることを確認します。

**Windows 7:**右上の [インストールされた更新プログラムを表示] をクリックします。

Klocwork インストールパッケージエントリの下に、インストールされているパッチが表示されます。

4. [変更] をクリックします。

**Windows 7:**Klocwork インストールパッケージを右クリックして [変更] を選択します。

変更ウィザードの [よろこ] 画面が表示されます。

5. [次へ] をクリックします。

[プログラムのメンテナンス] パネルが表示されます。

6. [変更] を選択して [次へ] をクリックします。

7. [カスタムセットアップ] 画面が表示されます。クリックスルーし、インストールされているコンポーネント (機能) を確認します。

注: 次の記号は、インストールされているコンポーネントを示します。

8. インストールされているコンポーネントのみを表示する場合:
9. インストール済みのコンポーネントを記録します。
10. [キャンセル] をクリックします。
11. 確認を求められたら、[はい] をクリックします。
12. [終了] をクリックします。
13. 特定のコンポーネントをアンインストールする場合、または以前にインストールしなかったコンポーネントをインストールする場合:
14. アンインストールするコンポーネントについては、[インストールしない] をクリックします。  
インストールするコンポーネントについては、[ローカルハードドライブにすべてインストール] をクリックします。
15. [次へ] をクリックします。  
[プログラムの修正準備の完了] 画面が表示されます。
16. [インストール] をクリックします。  
選択した機能が変更されます。
17. [終了] をクリックします。

#### Windows マシンからの Klocwork のアンインストール

Klocwork ソフトウェアパッケージを削除するには:

1. [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] > [Klocwork Insight 10.1] をクリックします。
2. アンインストールするコンポーネントのアンインストーラを選択します。

#### Windows での自動モードのアンインストール

Windows マシンで自動モードのアンインストールを実行するには、次のコマンドを入力します。

```
<installer.exe> /S /v"/qn REMOVE=ALL"
```

ここで、<installer.exe> はアンインストールするパッケージです。

アンインストールログファイルは %USERPROFILE%\Local Settings\Temp に保存されます。ログファイルの名前は、Klocwork<release-number>-<package>.log となります。たとえば、Klocwork 10.1 サーバーパッケージのアンインストールログファイルの名前は、Klocwork10.1-Server.log です。

## Unix でのアンインストール

#### Unix マシンにインストールされているコンポーネントの表示

たとえば、新しいバージョンの Klocwork にアップグレードする場合、アンインストールの前に現在インストールされているコンポーネントを確認し、新しいバージョンの同じコンポーネントをインストールできるようにします。

インストールされているコンポーネント (機能) を一覧表示するには、次のコマンドを実行します。

```
kwupdate [option ...] --list
```

オプションの全リストを確認するには、[kwupdate](#) を参照してください。

Unix でアンインストールするには、サーバーパッケージおよびデスクトッププラグインパッケージのインストールディレクトリ、または両方のインストールディレクトリを削除するだけです。

## Mac でのアンインストール

アンインストールするには、次のディレクトリを削除します。

```
/Applications/Klocwork Server 10.1  
/Applications/Klocwork User 10.1  
/Library/Frameworks/Klocwork*.framework  
/usr/local/kw
```

## Eclipse および IntelliJ IDEA からのプラグインのアンインストール

### Eclipse

Eclipse から Klocwork プラグインをアンインストールするには:

Eclipse 3.4	Eclipse 3.5 および 3.6
<ol style="list-style-type: none"><li>1. [ヘルプ]メニューから、[ヘルプ]&gt;[ソフトウェアの更新]&gt;[構成の管理]を選択します。</li><li>2. [Product Configuration] ダイアログが表示されます。</li><li>3. ナビゲーションパネルのアイテムを展開し、Klocwork 機能を表示します。</li><li>4. Klocwork 機能を右クリックして [アンインストール]を選択し、[はい]をクリックしてこの機能を無効にすることを確認します。</li></ol>	<ol style="list-style-type: none"><li>1. [ヘルプ]メニューから、[ヘルプ]&gt;[Eclipse について]を選択します。</li><li>2. [インストールの詳細]をクリックします。</li><li>3. リストから Klocwork プラグインを選択し、[アンインストール]をクリックします。</li></ol>

Eclipse を再起動するようにプロンプトが表示されたら、[はい]をクリックします。

Eclipse が再起動すると、Klocwork のボタンおよびメニュー項目は表示されなくなります。Klocwork Desktop Analysis plug-in for Eclipse をまだアンインストールしていない場合、Klocwork プロジェクトはその保存場所に残ります。

### IntelliJ IDEA

1. [ファイル]>[設定]に移動します。
2. [IDE 設定]で、[プラグイン]をクリックします。
3. **[Klocwork for Java in IntelliJ IDEA]**を右クリックし、[アンインストール]を選択します。
4. IntelliJ IDEA を閉じます。
5. IntelliJ IDEA を再起動し、Klocwork のボタンが表示されていないことを確認して削除を確認します。

**注:** アンインストール後、新しいバージョンの *Insight* をインストールする前に、*IntelliJ IDEA* を再起動する必要があります。



電話 (フリーダイヤル): 1.866.556.2967

直通: 1.613.836.8899

[sales@klocwork.com](mailto:sales@klocwork.com)

[support@klocwork.com](mailto:support@klocwork.com)

米国:

15 New England Executive Park, Burlington, MA 01803

カナダ:

30 Edgewater Street, Suite 114, Ottawa, ON K2L 1V8

[www.klocwork.jp](http://www.klocwork.jp)



Copyright © 1998-2014 Klocwork Inc. All rights reserved.

このドキュメントおよびドキュメントで説明されているソフトウェアにはライセンスが付与されており、このライセンスの規約に従った場合にのみ使用または複製することができます。ここに含まれる情報は Klocwork Inc. の財産かつ Klocwork Inc. とクライアント間の機密情報であり、Klocwork Inc. の排他的財産と見なされます。どのような形式または手段でも、電氣的、機械的、コピー印刷、録画、またはその他の方法で Klocwork Inc. の事前の書面による許可なしでこのドキュメンテーションの一部をコピー、翻訳、検索システムへの保存、または転送することはできません。ドキュメンテーションに問題がある場合は、書面で報告してください。Klocwork Inc. は、このドキュメントに誤りがないことを保証しません。

Klocwork およびは Klocwork Inc. の登録商標です。Klocwork Insight、Klocwork Inspect、および Klocwork Review は Klocwork Inc. の商標です。

サードパーティ製ソフトウェアの著作権告知には、Klocwork インストールディレクトリにある 3rdparty\_copyright\_notices.txt ファイルが含まれています。